

The EIKO ALUMNI Vol.104

【発行日】2025年10月15日
【発行人】栄光学園同窓会 河原光博(37期)
【編集・デザイン】広報部 村井基彦(37期) 川村貞知(37期)
【web】事業部 大須賀喜彦(39期)
【表紙写真】事務局 飯野習一(19期)
【印刷】東湘印版株式会社
【発行】栄光学園同窓会
〒247-0071神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1
Tel&Fax 0467-44-8875
e-mail: admin@eikoalumni.org



栄光学園同窓会 HP
<https://www.eikoalumni.org/>



同窓会からの最新情報をお届けします。
栄光学園同窓会 Facebookページ
<https://www.facebook.com/eikoalumni/>



EACON [名簿&コミュニティーサイト]
<https://eacon.alumnet.jp/>

The EIKO ALUMNI



contents

ご挨拶	2
[OBだより]	8
学園だより	16
同窓会information	22

会長挨拶

本年5月10日の2025年度栄光学園同窓会定期総会において再任いただきました、37期の河原光博です。引き続き、多くの先輩方が築いてきた当会の輝かしい歴史と素晴らしい伝統を発展させ次の世代に引き継いでいけるよう、同窓会執行部・幹事・常任委員・事務局等と力を合わせ、全力を尽くしていく所存です。会員の皆さまには、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2期目を迎えるにあたり、1期2年間を振り返るとともに、次の2年間への思いをお話しいたします。

1期目(2023~2024年度)を振り返る

就任1年目の2023年度は、当会発足70周年の節目の年でした。また、2023年5月の新型コロナウィルス感染症5類移行を経て、対面でのイベントが復活した年でもありました。

当会も、70周年事業として、2023年10月に「スポーツ大会 & 恩師なつかしの授業」、2024年2月に「70周年記念パーティー」を開催。また、The Eiko Alumniは2023年10月に記念すべき100号を発行。2022年度からフルカラー化し、魅力ある特集記事を中心に紙面を構成しています。

2年目の2024年度は、定例事業に着実に取り組むとともに、栄光祭「OBの部屋」での栄光ヒミツキチによるパネルディスカッションや10月のスポーツ大会等、近年スタートさせた新しい事業を「定例事業」として継続的に運営すべく取り組みました。また、会費について、銀行口座引落を推進し会費納入率の維持向上につとめるとともに、従来のコンビニ払込を口座振込に変更しました。オンライン会員名簿EACONで自身の会費納入状況を確認できる機能を実装する等、2022~2023年度に「財務検討特別委員会」で検討した諸施策を着実に遂行しました。

2期目(2025~2026年度)に向けて

この2年間で、各期同期会や支部活動等が大変活発に開催されるようになりました。コロナ禍を挟み、会員の皆さんのお名前は、大講堂のエントランスに設置する予定の芳名板に掲載させていただきます。また、累計30万円以上の寄付をいただいた方(グループ)は、リニューアルされる大講堂の椅子にご自身(グループ)のお名前とメッセージを刻んだ記念プレートを取り付ける予定です。

募金は2028年度まで継続しますので、昨年募金にご協力いただいた皆さんも含め、温かいお志を賜りますよう、重ねてお願いいたします。80周年事業募金は

「未来EiKO募金」の仕組みを活用していますので、所得税・住民税における税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。

会員の皆さん一人ひとりのご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

2026年4月に法人合併から10年の節目となるイエズス会姉妹校各校の同窓会(六甲伯友会・広島学院翠友会・上智福岡泰星会)ならびに上智学院とは、各会と連携した合同イベント等、これまで以上に積極的に共同事業を推進していきます。なお、上智学院の理事(中等教育担当)に前校長の望月伸一郎先生が就任され

ました。これまで以上に密な連携がとれるものと期待しております。

学園の「創立80周年事業」

昨年よりご案内の通り、母校栄光学園は2027年に創立80周年を迎えます。

記念事業の第1弾として、7月に体育館に空調設備が設置されました。在校生は1学期のスポーツ大会から冷房の効いた体育館で競技に臨んでおり、夏休みの部活動・2学期の授業も厳しい暑さを原因とする体調面の不安が大幅に軽減されたことは、大変喜ばしいことです。また、同窓生も在学中には味わえなかつた「涼しい体育館」での活動が可能となりました。本号の6ページに写真を掲載しておりますので、ご覧ください。

いよいよ、今年度から大講堂のフルリニューアルに向けた動きが本格化します。現在の大講堂は1964年の大船移転時のみほんとんど変わっておらず、いわば「半世紀以上前の仕様」となっています。空調設備ももちろんですが、余裕をもった席配置など現代の中高生の体格の変化にあわせたレイアウトへの変更は必須です。暑さ対策の面でも、昨今の暑熱により1学期の終業式・2学期の始業式は大講堂では行えず、小学生の受験希望者の保護者向けに秋に開催する学校説明会では、暑くならないよう雨乞いならぬ「涼乞い」をしている始末です。母校栄光学園が、一人ひとりの生徒の可能性を信じ大きく伸ばすことで、世の中に貢献する人物を多数輩出し続けるためにも、時代に合わせた施設整備はベースとなる大切な事業です。

記念事業の総工費は10億円を予定しており、募金目標額は3億円です。昨年10月末よりスタートした募金ですが、9月7日現在で38,232,903円(821件)、そのうち同窓生は27,303,578円(518件)。目標に対する進捗率はまだ12.7%です。母校栄光学園の未来に向け、同窓生の皆さまからより一層のお志を賜りたく、なにとぞよろしくお願いいたします。

なおご寄付いただいた皆さんのお名前は、大講堂のエントランスに設置する予定の芳名板に掲載させていただきます。また、累計30万円以上の寄付をいただいた方(グループ)は、リニューアルされる大講堂の椅子にご自身(グループ)のお名前とメッセージを刻んだ記念プレートを取り付ける予定です。

募金は2028年度まで継続しますので、昨年募金にご協力いただいた皆さんも含め、温かいお志を賜りますよう、重ねてお願いいたします。

具体的には、運用開始から10年を経過したオンライン会員名簿EACONの「会員情報の維持管理と利活用」について、今後取り得る手段の検討を踏まえ、諸施策を実行していきます。また、会費については、まずは会費納入率の向上に向け、歩みを止めず前進解決していきます。想定以上のスピードで進んでいる物価上昇等を踏まえ、当会の永続的な運営を前提に、コスト面を意識したより効率的な運営に取り組みながら、適切な収支バランスについて具体的に検討していきます。

2026年4月に法人合併から10年の節目となるイエズス会姉妹校各校の同窓会(六甲伯友会・広島学院翠友会・上智福岡泰星会)ならびに上智学院とは、各会と連携した合同イベント等、これまで以上に積極的に共同事業を推進していきます。なお、上智学院の理事(中等教育担当)に前校長の望月伸一郎先生が就任され



栄光学園同窓会会長
河原光博(37期)

栄光学園から

今年度の中學1年生は79期生です。栄光学園は2026年に80年目を迎え、その歴史には数えきれない出会いと学びが積み重なっています。私は1994年に48期生の入学とともにこの学校に着任しました。理科の地学分野を担当するようになって今年で30年になります(その間に2回産休・育休を取得しました)。自分が学校の長い歴史の一部分に加えていたことに、深い感慨を覚えます。

阪神・淡路大震災の衝撃

教員になって間もない1995年1月、阪神・淡路大震災が発生しました。都市直下型の激しい揺れが大きな被害をもたらし、テレビに映し出される神戸の様子に言葉を失いました。当日はテレビを見ながら授業で解説した覚えがあります。神戸は姉妹校である六甲学院のあるところ。相原先生と井本先生が、支援物資を届けに行かれました。まだ自分のことで手いっぱいだった私は動くことができませんでした。1995年8月、六甲で姉妹校4校の教員研修会がありました。六甲学院から見る神戸の町は青いシートがかかつた建物が多く残り、想像以上に震災の跡がくっきりと残っていました。

生徒と現場でも動けた東日本大震災

それから16年後、2011年3月に東日本大震災がありました。期末試験の最終日だった当日の夜、帰宅できなくなった生徒たち約100人と聖堂棟のホールに泊りました。長らく行われていなかった避難訓練が何年ぶりに復活してから数年後のことでした。翌日、生徒たちは地区会をもとにした通学方向ごとに分かれて、歩いてバスに乗ったりして帰宅しました。宿泊時、布団の敷き方やご飯の配布では、当時の上級生が山のキャンプの要領で手際よく動き、後輩を指導している様子がとても頼もしく感じられました。

2011年8月、生徒たちとともに宮城県石巻市を訪れ、ボランティア活動に参加しました。先に円福寺先生が数人の生徒を連れて2泊3日滞在し、入れ替わりで私がまた数人の生徒を連れて行きました。カリタス石巻ベースに宿泊して2泊3日、大川小学校で流された児童の遺品や写真を洗って整理しました。被災後初めての夏休みのことで、作業の最中にも体育館に遺品を探しに来る親族の方が何人もいらしていました。名前の書いてある学用品を見つけて声を上げる方もいらっしゃいました。また、避難所となっていた別の中学校の体育館では、前に訪れていた六甲学院の生徒が置いていたヨーヨー風船を膨らませ、避難している子どもたちと遊びました。大川小学校での作業の合間には川の土手に座っておにぎりをいただきました。生徒たちは大きな川の流れを静かに見つめていました。

地学視点での自然の普遍性・痕跡・ダイナミズム

昨年5月、思いがけず時間ができて、石巻市の震災遺構大川小学校と大川震災伝承館を訪れることができました。被災時の生徒

たちと先生方とのやり取りがさまざまな角度から展示されていました。子どもの言葉にきちんと耳を傾けられるか、その場の状況をいかに判断して臨機応変に対応できるか、そして思い込みに左右されず正しい知識を知ろうとしているか——そうしたことが多くの命に関わる現場でした。地学という教科を教えていた教員の一人として、大変複雑な心境に陥りました。

2011年以降、海のキャンプはなくなり、コロナ禍のあとには山のキャンプも全員参加型からバスによる日帰り遠足に変わりました。栄光学園の一つの文化であった「実体験としての自然」をどのように生徒に伝えていくのかは、学校の大きな課題です。

どこでも議論が湧いてくる伝統

この5年ほどで栄光学園では先生方が何人も入れ替わり、職員室や授業の様子ははずいぶん多様になりました。iPadが全生徒に配られ、宿題をオンラインで提出したり、ChatGPTを活用したり。それでも以前と変わらず、教室や職員室には生徒たちと先生方が議論している姿が多くあります。

何度やっても新鮮！岩石薄片プレパラート

この3学期にはまた中学3年の授業で岩石薄片プレパラートを作成します。生徒は一人ずつ、なかなか削れない岩石を一心に磨いてプレパラートにします。簡易偏光顕微鏡に置いてぞいでみると、生徒は感激しています。iPadを使えば教科書にある万華鏡のようなきれいな写真が撮れます。180個分の実験は準備に時間がかかりますが、やってみるべき実験だと考えています。「こうなるはず」と分かっていても、実際にやってみた実験ではなかなか教科書どおりの画像は得られません。どんな画像であっても、自分の経験の中で見つけたものは、生徒にとっては「発見」なのだと思います。今回で実験も20回目になり、また新しい「発見」と一緒に体験できることをとても楽しみにしています。

なんやかんやで「栄光生」は「栄光生」

これまで、栄光学園を支えてくださった卒業生の皆様に心より感謝申し上げます。いろいろなところで見かけは変わっていますが、これから先も「栄光生」は

「栄光生」なのだと思います。諸先輩方、卒業生の皆様が築いてこられた「栄光の文化」にさらに磨きをかけ、ともに面白がって歩んでいきたいと思います。卒業生の皆様、これから栄光学園もどうぞあたたかく見守ってください。



地学担当 北原麻子



EACONへの会員情報更新をお願いします

栄光学園同窓会では、個人情報管理の厳格化に対応するため、「印刷名簿」ではなく、同窓会会員専用サイト「EACON(EIKO ALUMNI COMMUNICATION NETWORK)」での「WEB版名簿」で皆さまの情報を管理しています。EACONは、「名簿管理」と「会員間コミュニケーション」の二つの機能を持ち、同窓会の皆さまの交流のサポートツールの役割を持っていますが、運営開始から10年が経過して、いくつかの課題があります。

情報が2014年当時のまま

最大の課題が「会員の皆さんの**情報更新が行われていない**」という点です。特に、「勤務先」や「出身大学(在学大学)」についての情報登録が低く、若い世代においては、**勤務先の情報登録が1割程度という期が多数ある**というのが実態です。

一方で、学生OBからは、「就活において志望業種を考えるにあたって、栄光の先輩の話を聞きたい。"Men For Others"の精神をもつ栄光OBの話は大学先輩の話よりも参考になると思う」という要望が多数あがっています。また、社会人OBからも「栄光OB同志で同業・異業種の繋がりを持ちたい。同じ価値観を持つ仲間との交流でビジネスパーソンとして成長したい」という声も聞きます。

同窓会としては、こうした皆さんの要望を踏まえ、同窓会会員の「繋がり」をサポートしたいのですが、勤務先を含めた情報更新の低さが大きな障害になっています。会員間の「繋がり」を強めるためには、会員データベースの充実が必須という状況になっており、この状態が更に続くことになると、同窓会活動の根幹を揺るがすことにもなりかねません。

同窓生を縦につなぐ！仕事・人脈で斜めにつなぐ！

そこで、この記事を読まれた方にお願いです。

EACONでのプロフィール情報(住所・メールアドレス・勤務先・出身大学等)について、更新されていない方は、この機会に是非「情報更新をお願い」いたします！LINEなどのSNSツールで繋がっているという期も多いと思いますが、**同窓会会員が世代を超えて繋がるために、EACON情報登録データベースの充実は必須**です。皆さまの情報更新が進めば、同窓会活動において、「**学生OBの就活サポート」「社会人OBの同業・異業種間交流**」などにおいて、大きな効果が出てきます。

これまで本誌でお伝えしているとおり、同窓会年会費については、若い世代の納入率が低いという問題があります。この納入率の低さの理由は、若い世代の方が同窓会活動のメリットを実感する機会が少ないと考えています。若手会員の方々が

EACONについてのQ&A

Q:EACONにアクセスするための会員IDがわかりません。

A:アラムナイを送付した封筒に印刷されています。

Q:EACONにアクセスするためのパスワードがわかりません。

A:EACONにアクセスするには会員IDとパスワードが必要です。**パスワードがご不明の方は、同窓会事務局に一報をお願いいたします。**

同窓会事務局 admin@eikoalumni.org
TEL 0467-44-8875



EACONの使い方

Q:EACONの“使い方”を教えてください？
A:EACONの利用方法については、同窓会ホームページのフロントページの右上「EACON の使い方」をクリックして下さい。

<https://www.eikoalumni.org/pdf/eacon/eacon.pdf>

Q:EACONはどういう経緯で導入されたのでしょうか？

A:すこし、時系列で年表風に回答します。
→ 2005年4月 個人情報保護法が全面施行

→ 過去4年毎に発行していた「印刷型名簿」では、同法に則した個人データの管理・保護は難しいという判断のもと、個人データの管理方法や同窓会名簿の取扱について新たな仕組みを検討
→ 2014年5月 ホームページにパスワードでログインする「会員専用ページ」を開設、「WEB版名簿」EACONの運用開始
→ 2017年5月 改正個人情報保護法が施行

→ 2018年6月 ホームページのリニューアルに合わせ、同法に則した、「EACONの名簿上の個人情報の管理を同窓生各自が主体的に更新・決定する」運用方法へ変更
→ 2020年に個人保護法の改定(概ね3年ごとに見直し)
→ 現行法の趣旨を適切に反映しつつ、EACONの利便性向上させるように、運用方法・機能などを適宜アップデート
こんな感じで、今のEACONに至っています。

超ダイジェスト、情報確認と更新方法

① ログインする

→ トップページが表示されます。



② トップページの左側の「ユーザーセンター」をクリック

→ EACON内の自分専用ページが表示されます。



③ 「プロフィール」をクリック

→ ご自身の情報を更新します。「自分からの見え方」「全体から見え方」「お友達からの見え方」「グループからの見え方」の4通りがあります。「斜めにつなぐ」ことも考えると、**所属情報とメールアドレスはできるだけ、「全体から見える」に設定**をお願いします。

④ ユーザーセンターを自分なりにアレンジ

→ 稼働風景なユーザーセンターを自分なりにアレンジする方法はアラムナイ103号(→同窓会ホームページでアラムナイのバックナンバー見れます)を参照しましょう。ご自身の職場(個人事務所や、仕事に近いお問い合わせ先など)のWEB情報など、リンク入りで情報提供できます。



EACON活用事例のご紹介

●会員Aさん

「仕事で関係あった取引先の方と色々お話しする中で、『もしかしたら、この方栄光OBでは？』と感じることがありました。EACONの検索機能を使って調べたら、栄光の先輩であることが判明！その先輩とはビジネス上のお付き合いは終わったのですが、共通の趣味を通じて、いまもプライベートでのお付き合いが続いています！」

●会員Bさん

「ビジネスシーンではたくさんの方々とお会いしますが、しばしば栄光の先輩・後輩と接点を持つことがあります。中学高校の6年間を同じ環境で育った仲間として、有形無形のビジネスの潤滑に繋がっていると実感します。EACONはスマホでも使えるので、気になる方がいたら直ぐに調べるようにしています。」

① ログインできない！

① 「ID・パスワードをお忘れの方はこちら」のページに進みます。

② 姓と名を入力します。

③ 【登録済みの】メールアドレスを入力します。

【登録済みのメールアドレスがある】

→ 一致すると受け付け〇
→ 一致しないとエラーに → ⊗

【登録済みのメールアドレスが無い】

→ 何を入れても、エラーに → ⊗過去にログインしたことあったけど、メールアドレスの登録をしていない、あるいは、登録していたメールアドレスがない、ほぼ使わない場合 → ⊗

⊗【事務局にメールアドレスを登録してください】と、期と名前を添えてメール → 事務局からの返信を待つ。

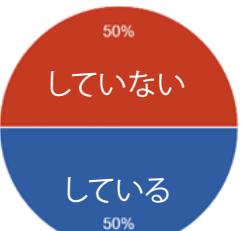
EACON利用状況についてのアンケート結果

昨年11月に45期から72期の期委員の方を対象に、EACONの利用状況についてのアンケートを行ないました。約20名の方から回答をいただきましたが、その結果は以下のとおりです。

期委員の方でも情報更新をされている方は半分程度という結果となりました。一方で、仕事や就活において栄光OBと繋がりを持ちたいと思っている方は3分の2近くで、プライベート含めて繋がりを持ちたいという方も半分いらっしゃいます。

栄光OB間の繋がりを強めるために、EACON情報登録強化が必要であるということがアンケート結果からもわかります。

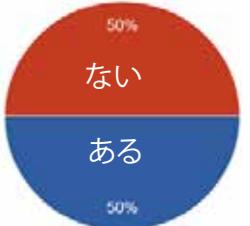
転居や転職をされた場合、
EACONに登録されているご自身の情報を更新していますか？



お仕事をするにあたって、あるいは、就活をする際に、栄光の違う世代の方と接点を持ちたいというニーズはありますか？



お仕事以外の活動(趣味や地域・社会活動など)をするにあたって、栄光の違う世代の方と接点を持ちたいというニーズはありますか？



創立80周年事業の進捗報告と御礼～体育館のエアコン設置完了～



2027年4月に創立80周年を迎える本学園では、2024年度より「創立80周年事業」を始動し、教育環境のさらなる充実を目指して、**2024年から2027年にかけて段階的に施設の整備**を進めております。

本事業は、総事業規模8~10億円を見込んでおり、そのうち**3億円を「80周年事業募金」として、同窓会・栄光会・後援会・学園の四者による「80周年事業募金委員会」が目標額として定め、皆さまからのご支援をお願いしております。募金委員会の設立にあたりましては、各会の皆さまのご理解とご尽力により、力強い協力体制が築かれましたことに、心より感謝申し上げます。**

2024年10月より、「**未来EiKO募金の一環**として80周年事業の募金活動へのご協力を広く呼びかけてまいりましたところ、すでに多くの温かいご支援を賜っております。皆さまのご厚意に、深く御礼申し上げます。

おかげさまで**2025年度**は、熱中症対策として急務であった**第1.**

第2体育館の空調設備新設工事(工事請負価格 105,600,000円)を(株)エコ・プランの施工により実施。5月の電源増設工事からスタートし、配線、配管工事、第1、第2体育館アリーナ、卓球場、柔道場、トレーニングルームの室内外機設置まで、当初**予定通り7月上旬に完了**し、スポーツ大会や夏休みの部活動では、生徒たちが安全かつ快適な環境のもとで活動することができました。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

栄光学園中学高等学校
校長 柳下 修



未来EiKO募金 EIKO HIGH FOREVER FUND

栄光学園は、創立100周年にむかって、今後も時代のリーダーを輩出し続けることができるよう、【未来EiKO募金】を設立しました。母校のさらなる発展のため、未来のため、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

詳細は右QRコードよりご覧ください。▶



会費納入のお願い

会員の皆さん、いつも同窓会活動へご協力いただき誠にありがとうございます。THE EIKO ALUMNIの発行、OBフォーラム等各種イベントの開催及びオンライン会員名簿EACONや同窓会ホームページの運営等、会員同士の交流を活発化させるための同窓会の活動は、皆様からの会費によって支えられています。

しかしながら、従前から引き続き40期代以降の納入者数が低迷しており、2024年度の会費納入率は前期(44.1%)より低下し**43.7%**となっています。

また、同窓会の2024年度の収支は△364万円の赤字であり、2025年度も△482万円の予算を組んでいるところ、2025年3月末の同窓会の現預金は4,671万円となっていますので、**このまま活動を継続すると10年弱で現預金が底をついてしまう**可能性があります。

サステナブルな同窓会運営のため、会費が未納の場合は以下いずれかの方法でご納入いただくよう、重ねてお願い申し上げます。

会費納入方法①: 口座振替(引き落とし)

原則として口座振替(自動引落)方式への移行をお願いしていますので、先日お送りした「会費納入と口座振替手続のお願い」をよくご確認いただき、振替のお手続きをお願いいたします。なお、なお、**口座振替方式へ移行していただいた方は特別に、過去の未納分は請求いたしません。**今後、毎年2,500円をお引き落としさせていただくのみです。

会費納入方法②: 同窓会口座への振り込み

何らかの理由で口座振替方式へ移行されない方は、下記の同窓会口座へのお振り込みください。なお、お振り込みの際は、**過去の未納分(最大20,000円)**についても**納入をお願いしております**。

振込先

横浜銀行 大船支店
普通 0268077 エイコウガクエンドウソウカイ
(ご注意)振込人名の前に会員番号をご記載ください
(例:012345 エイコウタロウ)

なお、EACONでご自身の会費納入状況を確認できるようになりました。以下をご参照の上、ご確認くださいようお願いいたします。



教育内容拡充
施設設備拡充
生徒の修学支援



OBだより

1962-1964

箱根駅伝出場の思い出 山野井毅彦氏(8期)

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>寄稿・投稿



山野井さんの雄姿を伝える記事から ▲

第1回大正9年(1920年)「世界と戦える長距離・マラソンランナーを育てる」を課題としてスタートした東京箱根間往復大学駅伝競走(以下箱根駅伝)は、第101回が2025年1月2~3日に行われ、青山学院大学が総合優勝しました。

この正月恒例の行事となった箱根駅伝に、私は第38回大会1962年、第39回大会1963年、第40回大会1964年に慶應義塾大学の選手として3年連続出場しました。

栄光時代陸上競技部に少しだけ所属した私が、何故箱根駅伝を目指したかといいますと、栄光の中学校時代の友人倉島君が、慶應義塾附属高校の競走部で活躍していました。私が慶應義塾大学に合格したのを知り、一緒に箱根駅伝を目指そうと誘ってくれたのがきっかけでした。長距離ランナーにとって、箱根駅伝は、見るものではなく、何としても走りたい「あこがれ」である。また当時の慶應の長距離人数は、15~16名で高校時代経験のあるランナーは少なく、「素人軍団」の集まりでした。実績のない私が出来るか悩みましたが、「頑張れば出場のチャンスがある」やってみよう決心し、体育会競走部に入部しました。

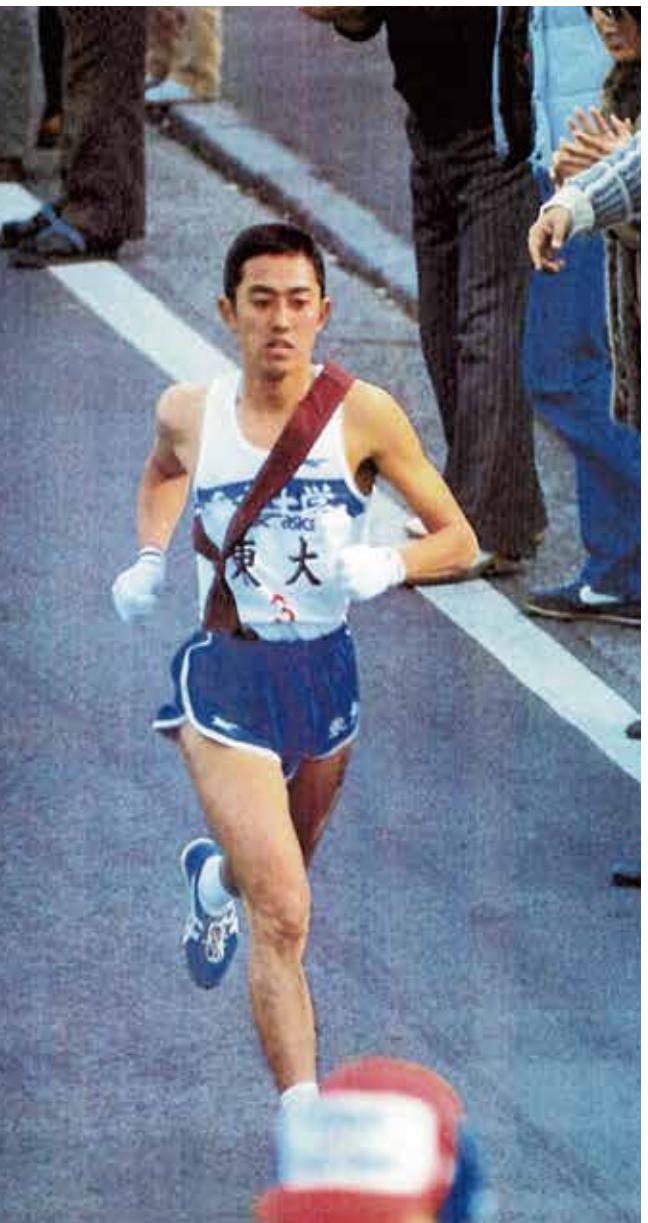
当然のことですが、最初は皆について行くことは出来ません。トランクの外周を毎日トコトコ走って、基礎体力、走力作りに務めました。夏に入りようやく、皆と同じ練習が出来る様になり、夏合宿に参加出来、つらい練習をやり遂げて「出来る」と自信が生まれました。

1年生の1961年は予選会を通過出来ませんでした。2年生の第38回大会1962年は予選会を4位で通過し(5位まで出場可)、3年ぶりの出場となりました。私は第8区(平塚~戸塚間19.9キロ)にエントリーされました。7区のランナーは私を誘ってくれた倉島君です。栄光学園中学コンビのタスキリレーです。初出場で伴走車からの

1984

箱根駅伝出場の思い出 栗田晴彦氏(29期)

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部活動



3区・声援の中を駆ける栗田晴彦さん ▲

1984年1月2日10時24分6秒、第60回箱根駅伝記念大会横浜戸塚中継所。先頭早稲田大通過後10分。線上スタートの号砲が鳴り4校の走者が発走。予選会7位通過の東京大学3区走者として、平塚まで21.3Kmを走る最初で最後の箱根駅伝が始まりました。

東大が箱根駅伝?あれと思う方が多いでしょう。当時は予選会上位6校を含め、本選出場は15校。東大は予選会最高8位とも一歩のところ。ところが60回は記念大会で、5校を増枠となり、前年11月の予選会で過去最高の7位で悲願の初出場となりました。目標は、本選での15位以内です。ただし、強豪校との差は歴然。往路で櫻をつなぐには各区でトップから5分以内で走る必要があり、監督からは「最悪は全員線上もあるぞ」と言われていました。

果たしての線上スタートでの出発、弱気と強気が交錯する複雑な気持ちです。順位は17位、調子は悪くありません。15位に上がって、櫻をつなぐことを目標に、4名の17位集団からすぐに抜け出し、前の走者を追いかけます。原宿交差点、遊行寺坂と快調に走ります。藤沢市中心部付近では、栄光学園関係者でしょうか、個人名での応援も多くありました。本当に力になりました。

中高はバスケ部所属でしたが、大した貢献はできませんでした。大学では心機一転、陸上部の門を叩きましたが、その時は箱根駅伝に「出場する」などは夢にも思いませんでした。1年目は故障続き。2年目でまともな練習開始。3年目で実力が着き始めた時に千載一遇のチャンスに恵まれたのです。地元ということもあり、本戦での3区出走を自ら志願しました。

辻堂を過ぎ、海沿いの国道134号に出たころは気温も上がり疲れが始めます。前との差は一向に縮まらず、後方のジープに乗ったコーチからは「檄」が飛びます。苦しい中、前方に聳える富士山がきれいだったので今でも鮮明に印象に残っています。

最後の力を振り絞り、平塚中継上で倒れこむように先輩の4区走者に櫻を渡しました。1時間10分2秒、区間15位。櫻をつなげましたが、順位は17位のまま、タイムも試走より30秒遅いです。東大はその後各区走者が皆健闘しましたが、櫻はつながらず順位は17位のままで最初で最後の箱根駅伝は終了しました。

マラソンの瀬古利彦選手のDNAを継いだ早稲田が断トツの1位でしたが、増枠5校には、法政、明治、慶應が入っており、東京六大学中5大学が参加という大会でした。これを機に、箱根駅伝への関心が一気に高まり、87年にはTV放送開始、その後は新規の大学の参入も始まり、現在のブームにつながっています。ただ、皮肉なことに、逆に東大出場のハードルは高まる一方で、その後の本選参加はいまだありません。

ただし、今年は一つの大きなトピックスがありました。兄弟校の六甲学院出身の東大秋吉選手が、学連選抜として8区に出走。一時は区間記録となる快走で走り切り、戸塚中継所で同じ東大大学院で学連選抜の古川選手に櫻をつなぎました。参考記録ではあります、41年ぶりの赤門櫻リレーとして注目され、私も非常にたくさんの勇気をもらいました。

秋吉選手活躍の原点には、「急坂の登下校」、「中間体操」、そして特に「強歩会」があると言っています。同じような環境で中高6年間心身を鍛錬している本学園の卒業生が(欲を言えば東大のブルーのユニフォームで)新春の箱根路を快走する日が来るのを願ってやみません。

最後になりますが、この日の走りと、栄光学園にかかるエピソードを紹介します。当時は、大学のグランド近くに一人暮らししていましたが、地元の大会ということで大晦日に鎌倉の実家に戻っていました。問題は翌日、レース前日の練習/調整で、深い考えもなく自宅から3Kmにある栄光のグランドを選びました。若気の至り、本来なら一言お断りをいれるべきだったでしょうが、大会のことでも頭がいっぱいでした。本番の出走時間に合わせた1月1日元旦の午前10時~12時、人っ子一人いないグランドを我が物顔に走り回ったのです。今なら、警備会社や警察に通報されたかもしれません、おおらかな当時学園の先生方のお咎めもなく無事に調整ができました。

後日、人づてにお聞きしたのですが、実は私のこと、そして翌日の大会のことは聞いており、暖かく見守っていたことでした。時間は経ってしまいましたが、この場で、無断借用のお詫びと、完璧な調整ができたことの御礼を申し上げたいと思います。

栗田晴彦(29期)

6期同期会



6期同期会を5月28日、横浜「崎陽軒」にて開催しました。(6期は、卒業者数139名、逝去者数54名、住所判明者76名 存命85名、住所不明9名)

老い先短い6期とて2022年6月、2024年3月と、皆での再会の機会を増やして集合しています。時間を絞り出して合計27名が集合(付き添い?夫人3名にも参加願いました)。

3テーブルに分散し、中華料理を楽しみながら昔の話・現在・将来の話に花を咲かせ終了しました。また来年、出来るだけ多くの人数で集合したいと全員一致で再会を約しました。

鈴木顯一(6期)

19期同期会



同期のヒラヤマ君が総支配人を務める「HOTEL PLUMM」ではぼくら19期の同期会が毎回開かれるが、それは単なる「会場」ではない。ドアから一步中へ足を踏み入れた瞬間、誰もが10代の「栄光生」に戻るタイムマシンのような時空間だ。

2025年7月26日に開催した同期会は「中学入学60周年記念」。その日、ぼくらは1965年にタイムスリップした。60年前、19期生は大船1期生としてピカピカの校舎に足を踏み入れた。当時と今との違いは、片手にビールか、ワインか、ハイボールのグラスを持っていることくらいで、たわいのない会話はほとんど変わらない。

今や19期お抱えバンドとなった軟庭部のメンバー中心のバンドSUS4の60年代ソングの演奏のあと、出席者63名による「入学時の思い出&近況報告」。ステージに立つと、「○○です」と当時のあだ名を名乗る。入学したての12~13歳の坊主たちが興じたのはあだ名づけだった。多くは容姿風貌からだった。ある靈長類を連想させたことから「マンド」。背が高くて大人びていたから「酋長」、60年代に人気を博したデン助劇団の座長木村デンスケと名字が同じだから「キムデン」、中1Bの担任だった稻田千秋先生のあだ名が「イナチ」だったのでそのアナロジーで「ヤマチ」、本名の「カズト」がなまって「ズンド」、本名を音読みして「オヤジ」……。

当日出席できなかった面々にも「迷あだ名」の数々があった。中には、つけられた本人はあまり喜ばないあだ名もあった。12~

13歳の坊主たちにはあどけなさに隠れた無自覚な残酷さがままであった。ただ、60年経った今も、その「喜ばないあだ名」も含め、同期をあだ名で呼ぶ。あだ名で呼んだ瞬間、悪意などなく無垢な気持ちでつき合い、じゃれ合っていた60年前の関係性が呼び起こされ、懐かしさで心揺さぶられる。

あだ名とは別に、名字が同じ同期はファーストネームで呼んだ。一昨年亡くなった「シンシケ」はSUS4のドラム担当で、同期会での演奏中はステージの奥からいつも笑顔を投げかけてくれた。脳神経外科のドクターで、多くの同期のかかりつけ医でもあった。「マサキ」が3年前の前回の同期会では元気な姿を見せたのに、2週間後に急逝したときは本当に信じられなかった。サッカー部OB会のまとめ役だった。同期会では2人の前回参加時の笑顔の写真がスクリーンに映され、ぼくらは心からの追悼の意を捧げた。

MEN FOR OTHERSという言葉。1973年、当時のイエズス会総長ペドロ・アルベ神父が欧州イエズス会学校卒業生の大会で投げかけたメッセージで、その後、イエズス会系の学校の教育理念とされるようになったという。だから、1965年から6年間の在学中、ぼくらはフォス校長(当時)の口からも聞いたことなく、正直なところ、あまり実感がわかない。同期のみんな(all)がそこにいるとき、One for all, all for one.でありたい。その同期愛は実感をもつていいえる。

勝見明(19期)

27期・28期ソフトボール大会&懇親会



運用のおかげもあり、21人の参加者全員、熱中症も怪我もなく、2試合開催できました!

1試合目は、中1時代のA/B組 対 C/D組 というチーム対抗で、11対12という大接戦!でしたが、年齢をわきまえつつ無理せず焦らず慌てず大人の試合進行。勝負にこだわらないゆるさがいいですねえ(笑)。2試合目は、27期 対 28期 の対戦で、劣勢だった27期が、最終回になんと14得点の大量点で逆転勝ち。ほとんどの打球が28Kレフト守備の高田先生へ飛んで大忙し!若々しく躍動されていらっしゃいました。お疲れ様でした。

さすがに2試合目は暑さで皆ヘロヘロでしたが、毎年恒例のソフトボール大会を完遂できたという満足感・充実感があったのです!その後は、シャワーを浴びてお開き。各期ごとに大船の夜の巷に流れて行きました。

開催にあたって今年も、28期高田先生にお力添えを頂き改めて厚く御礼申し上げます。母校に御礼としてソフトボールの寄付をさせて頂きました。また、パイロットの27期佐野君の天気予報の見立て、某大企業幹部の27期河崎君の傷害保険契約取りまとめ、ソフトボールが趣味?の28期石川君の試合ルール等の知見や提案…等々、幹事メンバーのそれぞれの専門性が発揮され、改めて栄光の仲間は心強く有り難いと感じ入った次第です。

27期は今年から前期高齢者の仲間入り、28期も来年からですが、体力・気力を維持し続けて、ソフトボール大会&懇親会を今後も是非毎年続けて、共に人生を楽しんでいきましょう!

菊池裕明(27期)、石川英一(28期)

71期「二十歳を祝う会」を終えて



二十年という年月はあつという間に過ぎてゆくものだ。歳を取るにつれて、時の過ぎゆくのは早くなるとは云うが、「ハタチ」というのも、あつという間に訪れた(この原稿も、書き始めてから書き終えるまでに、半年以上の時があつという間に過ぎていたのである)。

されど、その短くもある年月の内、六年間を栄光学園で過ごしたことになるのであり、その学友達との卒業以来の再会は、誠に尊いものであった。細々とした経過を長く書くこともできるが、言葉には仕切れない感傷が「二十歳を祝う会」に溢れていたであろう。カメラのファインダーを覗けば、どこか懐かしいような、学友の顔が並んでいる。思い出話と近況報告に花を咲かせ、お互いに変わっていないことと変わったことを確かめ合うようである。

以前、同窓会のとある先輩と「同期との繋がりは大切にすべし」ということを話していた。その方によれば、栄光学園を卒業して以降、各々、大きく変わっていく。大学に入れば、大学やアルバイト

先等で各々新しい友達が出来る。就職すれば、職場の人間関係を築き、生活時間も変化する。家庭を持つとすれば、育児や教育の中で、生活スタイルが変化するだろう。併し、それでも、ふとしたときに、学友と再会する事がある(実は、私の父(栄光学園の出身者ではない)と、栄光学園に進学した小学校の父の同級生がふとしたときに再会したことが、私が栄光学園を受験するきっかけになった)。目の前の生活に忙しくてしまいがちであるが、学友との時間を過ごすことの幸なるかな。件の先輩の仰ることを、先の「二十歳を祝う会」にて痛感した。

さて、この報告を終わるにあたって、先ずは、無事に「二十歳を祝う会」に参加してくれた学友たる同期全員に感謝をしたい。期全体で180人程居る中で、その殆どが参加してくれた。特に、会場の確保、企画の準備・運営等を引き受けてくれた期委員と同窓会幹事には、格別の感謝を伝えたいと思う。事前の買い出しや会場の設営、会の運営を手伝ってくれた彼等のお陰で、会を成功に導く事が出来た。そして、会場にお越し頂いた先生方、同窓会代表の河原先輩、大須賀先輩にも諸々のご協力を頂いた。ここに感謝を表したい。最後に、会場の「ホテルプラム横浜」の担当者様にも、感謝を申し上げたい。同期よ、またいつか、いざ会わん。

真崎海音(71期)

藤沢栄光会



藤沢栄光会では、2025年2月15日に、藤沢駅からほど近いレストラン煌蘭にて5年ぶりに総会を開いた。当日は藤沢市在住の6期から47期までの同窓生21名に加え、柳下校長先生、河原同窓会長、飯野同窓会事務局長、ならびに近隣栄光会からの参加を頂いた。

牧野幹事の司会で、始めにこの5年間に鬼籍に入られた13名の会員のために黙祷を捧げた。総会では、会長の挨拶に始まり、幹事の任命(11期牧野文勝、13期前山茂雄、14期大島弘尚、15期佐伯賢(会長)、16期村上正人、20期奥田基(事務局長)、20期篠原拓郎(会計))、および会計報告が行われた。

総会に続いて、柳下校長により「栄光学園の現状」と題して講演を頂いた。体育館に空調設備が必要なことや講堂の座席の更新が必要なことが把握できた。続いて、19期佐伯洋氏から「日本の鉄道」と題した元国土交通省・現鉄道友の会会長としての興味深い

25.6.2

約50年前の小冊子「丹沢の自然破壊」を寄贈



寄贈した冊子 ▲

あることから学園に寄贈し、柳下修

校長にお願いして学園のアーカイブ室や丹沢・札掛の山小屋(栄

光ヒュッテ)に置かせて頂くことになりました。

展示・発表を行った昭和40年代は、高度経済成長を背景に全国的に進んだ自然破壊が危惧されていました。丹沢でも林道建設による土砂崩れや皆伐による森林破壊、登山者の増加によるゴミの廃棄、登山道の荒廃、ロープーウエイ計画(戸沢出合から塔の岳直下の花立までを結ぶ計画だったが72年に中止)など自然が危機的な状況にありました。山岳部の部長の天狗さん(シートルテ神父)は小冊子の冒頭で、「丹沢に開発、観光、レジャーの高波が押し寄せて、山とそこにある素晴らしい自然を破壊しつつあります。…丹沢の動植物も人間の迫害から逃げまわっていて、生活の場が狭くなり、自然破壊がこのまま続くと、その滅亡もそう遠くありません」と記しています。

講演をいただいた。

出席者の中で最高齢の6期小椋祥男氏の乾杯により、懇親会が始まった。藤沢栄光会としては、前回に引き続き円卓での会であったので、お互いの距離感が縮まり、旧友とのよもやま話に花が咲き、さらに初対面同士の間でも活発に会話が弾んだ。

近隣の逗葉栄光会から山田会長、鎌倉栄光会から増木会長、茅ヶ崎栄光会からは島崎幹事にご挨拶を頂いた。続いて初参加の43期大

曲氏、47期の野村氏から自己紹介があった。更に残念ながら欠席の会員の中から3名の方の近況が紹介された。

年齢の離れた同志の会話も進んだ。途中からテーブルを超えての会話があちらこちらに展開して、賑やかであった。皆が今まで以上に盛り上がったと感じた。皆で「Eiko High Forever」を青春に帰つて声高に歌い、再会を期した。

事務局長の采配で、14期大島氏によるイエズス会姉妹校同窓会イベントの紹介、16期村上氏によるアルコール依存症支援「横浜マック」の紹介、20期篠原氏による「栄光学園後援会」の再紹介、同奥田氏から8月31日オール栄光ゴルフコンペの案内があり、最後に事務局長の閉会の挨拶で会がお開きとなった。

来賓の方から、「居心地の良い会だった」との嬉しい感想をいただいたのが忘れられない。 藤沢栄光会 会長 佐伯賢(15期)

25.6.2

約50年前の小冊子「丹沢の自然破壊」を寄贈



寄贈した冊子 ▲

あることから学園に寄贈し、柳下修

校長にお願いして学園のアーカイブ室や丹沢・札掛の山小屋(栄

光ヒュッテ)に置かせて頂くことになりました。

展示・発表を行った昭和40年代は、高度経済成長を背景に全国的に進んだ自然破壊が危惧されていました。丹沢でも林道建設による土砂崩れや皆伐による森林破壊、登山者の増加によるゴミの廃棄、登山道の荒廃、ロープーウエイ計画(戸沢出合から塔の岳直下の花立までを結ぶ計画だったが72年に中止)など自然が危機的な状況にありました。山岳部の部長の天狗さん(シートルテ神父)は小冊子の冒頭で、「丹沢に開発、観光、レジャーの高波が押し寄せて、山とそこにある素晴らしい自然を破壊しつつあります。…丹沢の動植物も人間の迫害から逃げまわっていて、生活の場が狭くなり、自然破壊がこのまま続くと、その滅亡もそう遠くありません」と記しています。

展示は22期の山岳部員が現地を歩き、写真を撮影し、平塚営林署や神奈川県農政部など関係者に取材した結果をまとめたものです。「私たち山岳部は、丹沢の美しい自然が壊されていく事を非常に残念に思う。…みなさんに自然保護に対する認識を深めていただこうと思い、この部展を計画した」と序文にその思いを綴っています。栄光ヒュッテをご訪問の際には是非、ご高覧ください。現在の丹沢の状況を見ると、幸いなことに当時危惧された状況は関係者の努力により回避されたように思われます。

栄光学園と丹沢の関わりは、創立翌年の1948年に当時34歳の天狗さんが中学2年の1期生24人を丹沢に連れて行き、中村芳男牧師が戦災孤児や引揚者のために開設した「丹沢ホーム」で8日間の合宿を行ったのが始まりです。その後、丹沢ホームや河原に張ったテントをベースに、毎年キャンプ生活や山登りをすることになりました。学園創立10周年の1957年には、丹沢ホームの中村芳男氏の応援と先生・生徒の献身的な協力を得て、札掛のテント場を見下ろす高台に山小屋を建設しました。以降、大自然を教師とする心と体の鍛錬の場として活用されています。

山岳部は、学園創立3年後の1950年9月9日、横須賀の栄光学園構内の気象台跡で天狗さんと当時高校1年だった1期生有志によって始まりました。そして、1975年3月25日、天狗さんと24期生の南アルプス仙丈岳登山で解散するまでの四半世紀にわたり、丹沢、秩父、八ヶ岳、北・南・中央アルプスなどの峰々に一度の遭難事故もなく400回以上の山行を重ねました。

中川聰 (24期)

バドミントン部OB会



2025年2月8日(土)、横浜中華街の萬珍楼においてOB会が開催された。コロナ禍の影響もあって、実に5年ぶりとなるOB会であったが、7期~64期まで総勢34名の参加を得ての開催となつた。

OB会は2部構成で、第1部の総会ではZoomによるリモート参加も取り入れたハイブリッド開催形式を取った。司会は29期日向淳氏で、まずOB会長28期の水島一郎氏より5年間の休会から再開に至るまでの経緯が説明された、今回は諸事情により比較的若い世代のOBにまで連絡が行き届かなかつたこと、次回以降は全世代のOBに連絡が届くように改善を進めることなどの説明があり、今後の継続した開催への意気込みが伝えられた。

また、今回は栄光学園同窓会から現副会長を務めておられる39期大須賀喜彦氏にもご出席いただき、未来EIKO募金についてご紹介いただいた。特に、大講堂の老朽化に伴い改修が急務であることなどのご説明があり、未来EIKO募金への積極的な参画を呼びかけられた。さらに、43期で現職衆議院議員の三谷英弘氏のご登壇もあり、会場内大いに盛り上がった。

もう一つ、会場を沸かせることとなつたのが、64期で現在栄光学園にて教鞭をとつておられる桐山大生先生のご登壇であった。今

回のOB会における最年少参加者であり居並ぶ諸先輩を前に多少緊張の面持ちではあったが、現在バドミントン部の顧問も務められておられることもあり、最新の栄光学園中高バドミントン部の活動状況をご紹介いただいた。現役バドミントン部員の皆様が熱心に部活動および自主練習に励んでいるとのことで、出席者の多くの方々から感嘆の声があがつた。なお、桐山先生は当日の午前中は授業、午後は部活をこなしての出席とのことであった。

引続いて第2部となる懇親会に移り、Zoom接続はここで終了、18期の前OB会長の服部秀昭氏のご発声で乾杯となり、久々の世代を越えた再開をお互いに祝し合つた。一通り話も進んだところで、全出席者からの近況報告に移つた。先陣切って今回最年長となる7期の橋本敬太郎氏から始まつたのだが、総勢34名も出席しているところ、幹事からは「1~2分を目途で」とのお願いはあつたものの、そこは5年ぶりのOB会。ついで熱の入つてしまふ方も多く、近況報告を終えたところで閉会の時刻を迎へてしまった。最後は47期OBの三村啓氏からご挨拶をいただいて5年ぶりのOB会は無事閉会となり、忘れずに全員での記念撮影を終え、次回OB会に期待しつつ三々五々に解散の運びとなつた。

佐藤純正 (35期)

「青ヶ島」

神奈川県の南には、大島から青ヶ島までの伊豆諸島が並んでいます。これらの島は東京都に属しております。毎日船が訪れているが、一番遠い青ヶ島にはあまり船が行けず、かなり不便である。

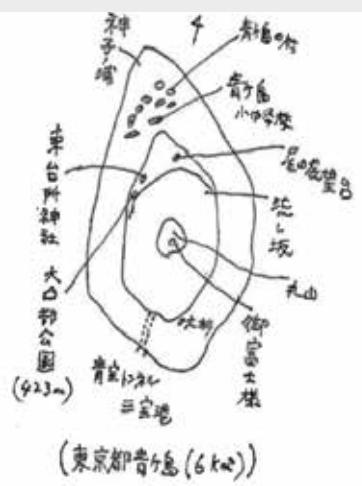
島に近づくと、島のまわりは40mほどの崖が続いており、島の南に小さな桟橋がある。船が着くと崖の下に小さな長いトンネルがあり、それを抜けると古い時代の大噴火原に出る。島の大半が吹き飛んだあとでは広い凹地になっている。

その後、約250年前には噴火が続き、132人が亡くなり、残りの202人は八丈島に避難した。50年近く経つて、やっと青ヶ島に戻ってきたが、人々は噴火口を避けて北にある僅かな高台に住むこととした。

島の周りは流れが早く、波も高いため、あまり漁ができるない。小さな船は海に流されないように、ケーブルで高い凧に上げてある。

島の旧火口の一部は未だ噴煙を上げている。そのそばには60度の蒸気風呂がある。風呂を出ると、外には蒸気で野菜や芋、卵などを蒸す釜があり、暫く待つと蒸し上がった食物を心ゆくまで堪能することができた。

池添博彦 (8期)



高校軟式野球・東西交流試合in甲子園観戦 (74期)が出場



(東日本選抜チーム・西日本選抜チーム合同記念写真) 高野連ホームページより ▲

軟式野球の全国大会は今年70回目を迎え、5月5日に甲子園球場で「全国高校軟式野球選手権大会70回記念、春の軟式交流試合in甲子園」と銘打った記念の東西交流試合が行われました。

この栄誉ある試合に栄光学園野球部の多田進之介選手(74期)が東日本選抜チームの一員として出場しました。多田選手は野球部の捕手・4番打者で、昨秋の関東大会準決勝の駒場東邦高校戦延長10回タイブレイクで2死満塁ツーストライクからセンターホーバーの3塁打を放って栄光を決勝戦に導いた立役者です。このような全国規模の試合に母校の選手が選出されたことは快挙であり、OBとして大変誇らしく思います。

試合は西日本が3対0で東日本を下しましたが、勝敗はともかく、全国の軟式球児が「軟式」を広く知つてもらうために甲子園で戦つたことに意義があつたようです。近隣の高校の吹奏楽部が選手を出していながらも拘わらず応援にきて試合を盛り上げてくれたとも聞きました。

この試合を観戦するため、野球部OBの柏崎さん(24期)、原田さん(29期)、宮島さん(29期)、尾崎さん(51期)も甲子園に駆けつけました。以下は柏崎さんの観戦記です：

『本校からは秋の関東大会で活躍した多田捕手が東日本選抜の選手として選出されました。お陰で野球でも栄光学園の名前を全国に知らしめることができました。

緊張感あふれる試合の中、多田選手はブルペン捕手として投手

陣の球を受け、東日本チームに貢献しました。最終回には代打で出場しました。結果はセカンドゴロでしたが、全国レベルの投手を相手にする、またとない経験をしたのではないでしょうか。栄光の生徒たちも応援にかけつけていました。甲子園球場の大きさ、歴史あるたたずまいに度肝を抜かれていたようでした。生徒たちは試合が進むにつれ雰囲気にもなれ、途中から東日本選抜の応援に加わり、声を張りあげていました。次回、開催されるときにも、彼らの中から次の代表選手が出ることを期待します。

休日にも拘わらず選手の引率・大会役員を務めていた吉田先生や応援してくださった多くの保護者の方々に感謝いたします。私たちOB4名も最後まで熱心に声援を送りました。試合後は折角のよいチャンスだったので会食し懇親を深めました。』

柏崎弘治(24期)、花井勝三(12期)



現地観戦したOBたち ▲

プラスバンド部OB会



OB演奏の部にて ▲

2025年3月23日(日)に栄光学園大講堂にて開催された栄光プラスバンド部の定期演奏会にOBが集い演奏をしました。定期演奏会は4部構成で、OBが演奏するのは第2部のOB演奏と、アンコール(アンコ～ヘルが掛かれば)です。2024年にコロナ禍を乗り越えて久々に復活し、今年も無事に開催出来ました。

OB演奏の部は、伝統的に若いOB世代(つまり大学生世代)を中心に、選曲などの企画をしていきます。この世代が中心となつて企画してもらっているのは、現役の幹部学年とのコミュニケーションの取りやすさを重視していることもあります。とはいえ、この世代は、在学中はコロナ禍で定期演奏会の開催も難しかった時

同窓会HP
>活動報告・会報記事
>支部等活動

オール栄光、ハマスタへ行こう。



レインボーアプロの大集団・参加者が入りきっていない… ▲

27期により2013年に始まりました真夏のイベント、ハマスタ観戦が8月20日に行われました。

昨年は飯野先生、大竹先生、20期、28期にも参加いただき62名による開催となりましたが、今年は更に拡大して、19期から65期までの14学年に、さらには奥様、ご子息、お孫さん、会社の同僚、部下などなど野球ファン仲間の輪が大きく広がり、イベント名も「オール栄光、ハマスタへ行こう。」に改め、過去最高の103名による一大イベントとなりました。

今回の試合はAクラス争いを繰り広げているカープが相手でしたが、折角100名を超す団体で集まるからにはただ観戦するだけでは面白くない、ということで、栄光パワーを見せつけるべく様々なアトラクションも企画しました。

① まずは皆でお揃いのレインボーアプロヘアを被ることにより、一塁側内野席の1ブロックがまるでお花畠のようになり、周りから大きな注目を集めました。

② 毎回挑戦しているダンスコンテストでは、七色のペントライトを持ちながらダンスをアピールしました。今回は惜しくも映りませんでしたが、一昨年は大型ビジョンに映ることに成功し、皆で喜びを分かち合いました。

③ ラッキー7の攻撃前には、ひいきチームの応援歌を熱唱するとともにカープファンは赤いジェット風船、ベイスターズファンは青いジェット風船を飛ばして選手に熱いエールを送り、その



オーロラビジョンに映りました～ ▲

姿はビジョンに映し出されました。

④ 今回の新企画は「ビール樽買いプロジェクト」。64期鈴木大誠君の推しの売り子さんから1杯ずつでなく1樽16杯を一気買おうする爽快感を味わいました。目標としていた150杯を大きく超える214杯(13樽強!)を飲み干し、売り子さんはトータル400杯以上を売り上げ、ハマスタキリンビール史上最高の記録を更新したそうです。

今回の一戦は、応援しがいのある打撃戦となりましたが、ベイスターズのエース東がセリーグ単独トップとなる12勝目を挙げてベイスターズが快勝しました。

観戦と合わせたもう一つのお楽しみは、近くの居酒屋に場所を移しての懇親会。久しぶりに再会した同期や、先輩後輩との話にも花が咲き、時間を忘れて和やかなひとときを過ごしました。

次回は更に多くの学年にご参加いただければと思いますので、ご興味のある同窓生の方は、いつでもお気軽にご連絡ください。

幹事:堀内英樹(27期)、連絡先:hideki-h55x@mail.bbexcite.jp

副幹事:金子和、渋谷直人(27期)、

各期サポート:

20期 根岸正和、28期 石川英一、

29期 原田冬彦、30期 米山操、31期 住隆幸、

37期 吉野清史、39期 大須賀喜彦、43期 米村俊彦、

45期 近藤亮介、64期 伊津野諒、65期 田中遼太朗

に鎌倉のお好み焼き屋で打ち上げをしました。来春もOB演奏を行ふと思いますので、部のOBの皆さん、ご準備ください。

また、現在、OB会幹事の吉澤和君(73期)が、OB名簿と連絡網の整備に奮闘中です。下記のURLのFormにて、登録のご協力をよろしくお願いします。

Form中の案内にて、ブラバンOB会事務局として開設したメールアドレス、「らくらく連絡網(過去に使っていた)」に登録済みだった方への周知事項、オープンチャットLINEへの登録方法なども、記載されています。現幹事世代の運営負担のサポートになりますので、OBの皆さん、是非ご回答ください。

村井 基彦(37期)



ブラバンOBはこちらに▲

学園便りから

進路情報 進路指導室から

5年目を迎えた大学入学共通テストは、今年度から新課程入試となりました。新設された「情報」は試作問題と同程度の難易度で、取り組みやすい出題で、図表の読み取り問題が追加された国語でも選択肢を5択から4択になったことで難易度も時間的にも配慮を

感じました。結果、地力をつけてきた生徒は高得点をとれ、自信を持って2次試験に挑めたことが、全体として良い結果につながったと思います。来年度もこの傾向が続くとは限らないので、難易度が上がつても対応できる実力が大事になってくると思います。

国公立大学	2025		2024		2023		2022		2021		2020		2019		2018			
	総数	(進学)	現役 73期	率(%)	総数	現役 72期	率(%)	総数	現役 71期	率(%)	総数	現役 70期	率(%)	総数	現役 69期	率(%)	総数	現役 68期
東京大学	文科一類	8 (8)	4 (4)	6	6	5	4	10	9	7	5	6	6	11	10	16	13	
	文科二類	13 (13)	10 (10)	10	9	7	6	7	3	8	7	7	6	3	14	12		
	文科三類	3 (3)	3 (3)	3	1	3	1	6	2	7	5	5	2	6	4	6	2	
	理科一類	23 (22)	19 (19)	23	18	23	20	21	13	18	12	29	17	22	13	30	21	
	理科二類	5 (5)	4 (4)	4	2	7	7	10	4	6	4	7	5	8	3	9	1	
	理科三類	2 (2)	2 (2)	1	1	1	1	3	3	0	0	2	1	0	0	2	1	
	推薦	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
	合計	55 (54)	43 (43)	47	37	46	38	58	35	47	34	57	39	54	34	77	50	
北海道大学	6 (6)	1 (1)	8	4	2	0	11	5	4	3	5	4	7	4	7	1		
東北大学	3 (2)	1 (0)	2	1	1	0	1	1	5	1	4	2	3	2	3	2		
東京科学大学(医)	3 (3)	2 (2)	1	0	1	1	0	0	2	2	1	1	5	6	4	3		
東京科学大学(理工)	8 (8)	5 (5)	6	3	14	10	14	9	4	2	5	4	14	6	6	4		
一橋大学	8 (7)	6 (5)	10	9	9	3	8	8	9	4	10	9	11	6	10	7		
横浜国立大学	11 (9)	8 (6)	5	3	6	5	5	3	10	4	12	7	13	11	7	6		
横浜市立大学	10 (9)	8 (7)	5	2	5	4	10	6	4	3	5	4	4	3	8	5		
京都大学	5 (5)	3 (3)	7	4	6	3	9	5	4	2	6	5	7	5	3	1		
大阪大学	2 (2)	0 (0)	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	1	
その他(医系)	14 (10)	5 (5)	11	6	11	6	8	1	14	7	13	7	10	6	13	8		
その他(上記以外)	3 (1)	2 (1)	18	12	13	8	17	9	16	8	10	3	11	7	9	1		

私立大学	2025		2024		2023		2022		2021		2020		2019		2018			
	総数	(進学)	現役 73期	率(%)	総数	現役 72期	率(%)	総数	現役 71期	率(%)	総数	現役 70期	率(%)	総数	現役 69期	率(%)	総数	現役 68期
慶應義塾大学	文	4 (1)	3 (0)	3	2	2	3	2	3	2	1	1	2					
	経済	19 (4)	11 (1)	11	14	19	21	21	21	29	29	31						
	法	5 (1)	4 (1)	4	4	3	5	3	4	4	2							
	商	18 (2)	14 (2)	12	7	17	10	9	7	7	13							
	理工	42 (7)	29 (7)	33	43	37	24	40	37	32								
	総合政策	3 (1)	3 (1)	3	2	6	1	3	1	1	2							
	環境情報	2 (1)	2 (1)	3	1	7	2	1	0	0	4							
	薬	2 (0)	1 (0)	3	2	3	2	1	1	4	3							
医	3 (0)	3 (0)	5	2	3	1	1	5	3	3	4							
合計	98 (17)	70 (13)	77	77	97	69	85	86	93									
政治経済	20 (3)	14 (0)	22	17	19	20	9	14	21									
法	19 (4)	12 (4)	9	12	14	9	6	7	15									
文	4 (0)	4 (0)	3	1	1	4	4	7	1									
文化構想	4 (0)	3 (0)	3	0	2	3	5	2	3									
教育	1 (0)	0 (0)	7	6	7	3	2	2	2									
商	4 (0)	1 (0)	7	2	7	6	3	4	10									
国際教養	0 (0)	0 (0)	1	3	1	0	1	2	1									
基幹理工	18 (6)	11 (4)	12	17	15	18	14	9	9									
創造理工	13 (5)	10 (3)	6	12	9	3	9	15	14									
先進理工	11 (4)	8 (2)	9	13	12	7	17	19	12									
社会科学	10 (2)	6 (2)	4	6	6	3	1	6	10									
その他	6 (0)	1 (0)	4	4	7	5	3	4	3									
合計	110 (24)	70 (15)	87	93	100	81	74	91	101									
上智大学	43 (3)	27 (2)	22	35	36	29	14	22	7									
東京理科大学	57 (6)	26 (2)	38	51	47	39	31	45	43									
中央大学	24 (3)	4 (0)	19	26	17	30	22	13	37									
明治大学	55 (0)	17 (0)	27	40	43	39	40	43	49									
立教大学	8 (0)	3 (0)	15	14	12	10	8	4	4									
その他(医系)	32 (8)	14 (4)	28	27	17	14	31	13	2									

24.2.15-17

中3 学年旅行@京都



和菓子を作成中 ▲

76期の学年旅行は京都2泊3日。1日目はクラス別行動(A組:金閣寺と和菓子体験、B組:伏見稻荷大社と組紐体験、C組:金閣寺と龍安寺と和菓子体験、D組:平等院鳳凰堂と伏見稻荷大社と抹茶体験)、2日目は3~6人の班別行動、3日目は5箇所の窯元(紫雲窯、陶あん、森陶器館、朝日焼作陶館、青窯会)に分かれての陶芸体験をしたとのこと。76期の声を拾ってみました。

初日のクラス行動はかなりこだわって細かいところまで決めていたため、大丈夫だろうとバスに乗り込みました。そして余裕の笑みを浮かべていたその時、バスガイドさんから衝撃の一言

「バスガイドは旅行委員さんがやるんですよね？」

「え？」

この瞬間、僕(旅行委員)は固りました「情報共有のミスが起きているじゃないか…一体どうしたら良いんだ…」。

その時、バスガイドさんから「もしよければ簡単なバスガイドはできますよ?」の声。僕は彼女が女神見えました。女神さん(バスガイドさん)から神社やお寺でのよりよい集合など、たくさんのアドバイスなどをもらい、とてもありがたかったです。

76期 O君

25.2.23

全国 6位入賞！ 第7回日本中学生ペーラメンタリーディベート大会



歴代2番目の6位でした ▲ 4名

栄光Aが3勝1敗で6位入賞、栄光Bが2勝2敗と健闘しました。

中学生HPDUは歴史も中学生大会の中では最も古く、またスピーチ時間も3分から4分になり、喋れる時間が長くなっています。そしてこの大会の最も恐ろしい点は“帰国生への制限が全くない”という事です。PDAという大会は帰国制限があり、所詮中学から英語を始めた者達が競い合う大会でした。しかし、この大会は違います。海外に何年も留学経験のある英語の猛者達が何食わぬ顔で参加しているのです。

インターナショナルスクール、帰国生をかき集めている私立、英検1級？当たり前でしょ？という輩を相手に、未だ英検2級の者達が立ち向かわなくてはならないのです！そんな過酷な大会で奮闘し、栄光チームとしては歴代2番目の結果となる6位を取った事は結構頑張った！

76期 O君

僕達の班は予定より早く旅館を出て清水寺に向かった。道が曲がっているので、突如現れた仁王門に驚きながらも、逆光の中一応撮影を済ませ、可愛い狛犬を傍目に舞台へ向かった。到着して、京都市内の方へ目をやると見晴らしの良い景色に圧倒されるとともにその高さに驚いた。おみくじをすると末吉だった。

少し早めの昼食を「ラーメン京」で済ませ、チュッパチャップスを食べながらバスに揺られて金閣寺に到着した。金色の建物が見えて全員の写真を撮ろうとしたが、周りが外国人だらけで写真を頼むことができない。自分たちの英語の未熟さを知り、おみくじをした。結果は半吉だった。

次に京都御所へ向かった。京都の中心部のような場所にゆったりした時間が流れている。御所の中には、最近古典でやった殿上の間や紫宸殿を見る事ができた。最後に東寺に向かった。奇遇なことに特別公開が行われていた。じっくり仏像などを見ることができた。また、その日は五重塔の内部に入ることができた。1日でたくさんの歴史ある場所を巡れてとても良い経験になった。

実は陶芸の時にもおみくじを引いたのだが大吉だった。幸せな気持ちで旅を終えることができた。

76期 E君



陶芸中です ▲

25.2.1 & 3.15

演劇ゼミ

初演@玉縄すこやかセンター
一般公演@栄光学園小講堂

2月1日に栄光学園から歩いて数分の所にある『玉縄すこやかセンター』の大広間で初演を果たし、地域の方々に喜んで観ていただけたことをきっかけに、やっと演じることが楽しくなってきた団員も多いのではないかと思います。すこやかセンターからの帰り道、怒り顔しか見たことがなかった会田先生が、「初舞台の幕が上がる数分前の何とも言えないゾクゾクとした緊張感が好きなんだ、今日は皆いい経験したよね」と、にこにこしておられました。ゼミ発表会で同期の仲間から大喝采を受け、本日の一般公演を迎えていました。うまくいくだろうか…セリフは飛ばないだろうか…このドキドキがゼミ員皆の「ゾクゾク」になって良い芝居が届けられますように。最後に前座を勤めて盛り上げてくれる74期令和マロンの2人、75期のインプロゼミの2人、そして公演に先立って素敵なポスターを作ってくれた山本洋三氏(栄光学園元国語科教諭・演劇部顧問)に心より感謝申し上げます。



山本洋三先生によるポスター ▲

25.3.16

全国 準優勝！ 第8回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会



学園に戻って記念写真 ▲

2025年3月16日(日)にオンライン上で行われた第8回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会に、本校から76期3名が参加しました。予選3試合を全勝し、2位で決勝戦に進みました。決勝戦の相手は渋谷教育学園渋谷中学校で、結果は惜しくも2-3で負けましたが、準優勝と素晴らしい結果を残しました。

この大会で決勝まで行ったのはこれまでに71期の先輩たちだけだったので、英語部の歴代成績の中でも良い結果だと思うので嬉しいです。決勝戦が始まってからは一瞬でした。落ち着いて、いつも通りに普通にディベートをやることを心がけました。決勝戦をして一番感じたのが、楽しい、という気持ちです。確かに、普通の大会での試合も楽しいが、それとは比べものにならないほど、楽しかったです。決勝という舞台の上、観客が多くいる中で、特別感があったからだろうと思っています。なので、これから大会でも決勝トーナメントに進めるようにしたいです。

76期 K君

25.3.17-19

中級默想会



聖テレジア修道院にて ▲

3学期末の3月17日～19日、上野毛にあるカルメル会黙想の家(聖テレジア修道院)で菅原裕二神父様指導の下、中級黙想会が行われました。参加者は75期1人、76期6人、教員2人です。

1日目は自己紹介と沈黙の練習。聖イグナチオ・ロヨラの「意識の究明」「Suscipte」(①感謝の心 ②1日を振り返る ③直したいことを思う ④神様に恵みを願う)を教えていただき、晩の祈りの後に実践しました。

2日目は聖書の「マルタとマリア」「荒れ野の誘惑」を読み、活動と祈りのどちらも大切であることや本当の幸せとは何かを考えることを学びました。神に自己紹介する(紙に書き出す)こともしました。

3日目は「意識の究明」の延長で、自分自身を振り返り(①私が受け取ったもの・贈られたもの、②私が選んだもの・獲得したもの③分からぬ・どちらでもないもの)に関して考えました。また、聖書の「百人隊長」「ヤイロの娘とイエスの服に触れる女」「エリコの近くで盲人を癒す」を読んで、信頼・信仰・すがる心・「神が愛であることを知る」ということを学びました。

(引率教員:高田暁)

25.3.12-13

スキー愛好会 合宿



菅平公園にて ▲

今年もスキー愛好会では合宿を行いました。日程は3月12(水)～13(木)。場所は菅平高原スキー場。定宿の佐久山荘のお世話になりました。参加者は、73期3名、74期1名、76期2名を教員2名で引率しました。

360°どの方向をみてもスキー場がある。このような贅沢な体験をしたのは初めてかもしれません。同じ学年のK君に誘われて入ったスキー愛好会の合宿は想像の何倍も楽しかったです。高校の先輩方と仲良くできるか不安でしたが、バスでもワールドツーリズムに誘ってくれたおかげで緊張もとけました。当日は途中から雨もふりましたが、いろいろなコースを何時間も滑りました。夜は宿のあったかな温泉で疲れをとつて、みんなで大富豪をしましたが、平民になれた時の喜びは忘れられません(笑)。

76期 I君

行く前は用具の準備など少し不安がありました。しかし実際に見てみるとそんな不安を忘れるほどの“楽しさ”的連続でした！！広大なゲレンデを友達や先輩と一緒に滑ったり、雪合戦をしたり、夜部屋でトランプをしたり遅くまで話したり…。

あつという間ではありましたが、先輩と仲良くなれ、意外な一面も知ることができた深く楽しいスキー合宿でした！また来年の開催が待ち遠しいです。

76期 K君

25.3.22

囲碁将棋部

全国大会5位入賞



対局開始 ▲

終業式が終わった後、新幹線に乗り大阪へ向かいました。試合は大阪商業大学で行われました。団体戦は3人1チームで参加し、県大会並びに全国9つの地区での予選を経て選出された、16のチームが4試合戦い順位を決定します。

くじで決められた1戦目の灘高等学校戦は1-2負け。入賞には3勝以上が必要な状況で迎えた2戦目の土佐高等学校戦は3-0勝ち。昼食を挟んで3戦目は熊本高等学校にも2-1で勝ち。最終試合の相手は仙台第二高等学校。2勝1敗同士の試合で勝った方が入賞です。自分はやや優勢な状態で終盤に突入。35分の持ち時間は使い切り、1手10秒の秒読みで相手が少し予想外の手を打ってきました。「6・7・8・9」対局時計が時間を読み上げます。時間稼ぎで1手打ち、対局時計を押しましたが間に合わず。時間切れで負け。しかし、三将と主将が勝ったので2-1で勝ち、チームとして3勝1敗で5位に入賞することができました。囲碁将棋部に中2で転部しましたが、当時は自分が全国大会に出場し、入賞することになるなんて夢にも思っていませんでした。

74期 O君

25.3.27-29

福島研修



大学生起業家のキウイ農家の阿部さんの話を聞く▲

3日間のスタディーツアーでは福島第一原子力発電所、東日本大震災・原子力災害伝承館などいくつかの施設を見学に加えて、多くの人の話を聞くことができた。福島第一原子力発電所の見学は特に心に残っている。発電所内に入る時には金属探知機など厳重な検査を受け、携帯型の線量計を持って入った。見学では1号機の建屋から100メートルほどの距離の高台まで近づくことができた。14年前の爆発で多くの放射能を空中に放出し、今も内部には大量の放射能デブリが入っている建物が目の前にあるというのには不思議な感覚を覚えた。また、外部から入ってきた人が新たな街をつくることがよい復興なのかという疑問も感じた。

74期 H君

今回の一番の学びは、若手起業家をはじめ経済産業省の方など多くの人の話であった。震災の惨事を振り返ることも大切だが、大事なのは未来だということに気づかされた。起業家の皆さんは一度人のいなくなった福島の浜通りを再生できることを信じてそれぞれのやり方で福島を盛り上げようとしている。復興に今後一番の大切なものは「人」だという言葉が心に残った。

74期 A君

25.4

79期入学式



菅原神父(手前)。奥はサリ上智学院理事長▲

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは少しの不安と大きな期待を抱いて栄光学園に、そしてこの聖堂に入られたことだと思います。栄光学園のチャプレンとして、皆さんのが入学して過ごす最初の日と一緒に祈ることから始めることができることをたいへんうれしく思っています。

栄光学園はキリスト教精神に根ざしています。それが具体的にどういうことなのかと説明するならば「学業を本分として受け入れ、よい意志を持って取り組む」「困難に直面した時は勇気と忍耐を持つ」「先生方に敬意を払い、生徒同士は愛と誠意をもって接する」「あらゆる人間関係において誠実さと寛容さ、善意を持つ」「喜びや悲しみを分かち合う共同体を築く」「そのために自分の限界を受け入れ、新たな挑戦を受け入れる」などの姿勢を持つことを意味します。そしてその一つひとつの事柄に、先ほどの聖書の朗読にあつたように、イエス・キリストが教えた「愛するので」「愛するために」それを行うという動機が加わることを指しています。

この愛の教えをまとめる考え方として栄光学園が大切にしている精神があり、それは「他者のために、他者とともに」というモットーで表

25.3.26

歴史研究部

神田歴史散歩



神田明神にて▲

3月26日。春どころか夏も感じさせてしまうような半袖の似合うような暑さだった。最初は神田明神。平将門を祀った神社だ。現在では戦乱を起こした逆賊として知られる彼だが、江戸時代には武家のものということもあり、江戸の守護神と考えられていたそうだ。神社はとても派手でありながら、どこか莊厳を感じさせる見た目であった。部員の皆はおみくじを引いていたが、私は財布を持っていなかったので、仕方なく諦めた。

次は湯島聖堂。道中、先ほどないと思われていた財布を発見してしまった。今更戻るわけにもいかず、おみくじは諦める。気を取り直して湯島聖堂に到着。昌平坂の上に立っていることから昌平坂学問所とも呼ばれている。聖堂は厳かで、当時の雰囲気を感じたような気がした。現在のものは昭和にできたものなのだが。

次はニコライ堂。ロシア人が建てた正教会の教会ということで、ロシアやウクライナにあるような芸術的なデザインで、その丸屋根はどこかイスラム教のモスクを感じさせるものだった。どれも違った雰囲気だが、どれも神聖だった。

77期 K君

入学式ミサでの菅原神父の説教から

現されています。この生き方を6年間で身につけるのが栄光学園の目標です。これから始まる学園生活で何を学ぶか、どのように学ぶかは先生方、先輩や同級生が時間をかけて教えてくれます。しかし、最終的に何故学ぶのかと問われたら、それは「他者のために、他者とともに」生きる人間になるためです。

のために、社会の平和と調和を促進する、人間生活の核となる指針を自分の中に形成する必要があります。授業だけでなく課外活動、ボランティア活動、遠足や旅行、スポーツの時間があります。それらを通して多くのことを学び、調和の取れた社会を築くことができるようになると毎日励みます。視野を広げることも大切です。それらすべてのために準備が必要で、体力があり、知識があり、日本語以外の言葉ができることも求められます。自分のことがきちんとできるだけでなく、自分のことだけを考えるのでない人になることを目指し、しっかりと「他者のための人、他者とともにいる人」になれるように努めます。

この学園生活のために祈りの時間を取り姿勢が大切になります。キリスト教の信者になる必要があるわけではありません。しかし、聖書の言葉を読み、自分の生活を振り返る時間が大切です。感謝したり、謝らなければならぬことを自分の心の中で整理する時間です。毎日の生活の中で、あるいは一週間の暮らしのうちに、また毎月毎年静かに自分を見つめる時間がある人は深みのある人生を送ることができます。

皆さん一人ひとりのこれから学園生活のために心からお祈りをしています。

25.4.23

Visitors from Zambia



まずは顔合わせ▲



トランプで勝負▲

On April 23, a delegation of 18 students and three teachers from St. Ignatius College in Lusaka, Zambia visited Eiko. They braved the heavy rain as they walked up the Eiko Hill. Since the students are members of the ICT club, they were particularly interested in seeing what an ICT class looked like. To this purpose, we visited a class that was in progress. After lunch, the delegation met and interacted with Junior 3 students in two classes. This program was a great opportunity for Eiko students to practice their English while learning about the differences and similarities between Japanese and Zambian life.

25.4.27 & 5.4

聖園訪問



今年度はすでに4/27・5/4と聖園訪問を行い、79期中1を中心多く生徒が参加してくれました。

聖園訪問はとにかく楽しかったです。理由があつて親と過ごせないということを愛の運動委員会の時に聞きましたが、実際行ってみて遊んでみるとそんなことどうに忘れてします。聖園の子供達も素直優しく、鬼ごっこや聖園の子供達が教えてくれたゲームなどができとても楽しい面白かったです。2回目に行くと、初回の時に遊んだ子が自分のことを覚えていて、嬉しい気持ちになりました。毎回行こうかなと思えました。

79期 S君

初めて聖園訪問に行きました。聖園には、明るくて活発な子ばかりで、自分から話しかけるどころか聖園の子たちから声をかけていただきました。そんな聖園の子達と広大な公園の中で、戯いごっこや鬼ごっこ、時には虫を持った子に追いかけられて…(涙) 時間を忘れて遊んでいました。

その後の奉仕活動では、草むしりをしました。草むしりと聞くと大変だな、と思うかもしれません、先輩の体験談や部活についての話を聞きながらやっていたので、楽しみつつ、達成感を感じられ、かつ聖園の方に貢献できて、もう一石三鳥。

79期 O君

25.4.30

中2 東京遠足



末廣亭前に▲

新宿末廣亭にて、三増紋之助さんに曲ごまの綱渡りの糸を抑える役目に挑戦しました。紋之助さんが「となりのトロで、トロがこまの上に乗って空を飛ぶ場面。あれ、夢がありますよね~」と客席に語りかけ、トロの人形をこまの軸へと上から刺します。トロの音楽が客席に流れる中、それが回転しながら糸の上をくるくると滑り降りてきます。舞台に立っている私からは、それがかなりシユールな絵面に思えましたが、会場からは大きな拍手が沸き上りました。僕はなんでおと人形を刺しても安定するのかがずっと謎で、夜しか眠れませんでした。

78期 H君

末廣亭に行くのはこれで3度目。演者側がこの世代でも笑えるように工夫されていたのは流石だった。科学技術館は一度小学校の遠足で言ったことがあったが、同じく2度目以降の生徒も多く、前回とはまた違った楽しみ方ができてよかったです。あと最後に、募金箱の真上で開きかけの財布を逆さにしてしまい全ての小銭(500円玉含む)が募金されてしまった。どうか何かしらのご利益とかありますように。

78期 D君

25.5.11-12

栄光祭



栄光祭に関する悪い夢を見てうなされることも何度かありました、新年度までは“比較的”平和な日々が過ぎていきました。

4月になると途端に忙しくなり、幹部はみな余裕がなくなり、それぞれ体調を崩してしまうものがありました。決起集会を開いたり、毎日実行委員全員を呼んで仕事をしてもらったり、最終下校時刻ギリギリまで活動したり、先生方と諦めず交渉を続けたり…実際に様々なことがありました、今では大事な思い出となっています。

栄光祭当日はずっと巡回をしていました。行く先々で魅力的な展示やパフォーマンスが行われ、たくさんの人を笑顔にしているのを見て、いい栄光祭になったかなと嬉しく思いました。

75期 Y君



焼きそば、調理中▲

アロマで仕込み中▲

同窓会 information

2025年度 同窓会定期総会報告 (1)



河原会長の挨拶 ▲

【日時】2025年5月10日(土)13:00~14:20

【場所】アロイジオ会館、Web会議(ZOOM利用)の併用

【出席者】(カッコ内の数字は卒業の期)

会長:河原光博(37)

副会長:高橋英治(28)、大須賀喜彦(39)

会計監事:上甲雅敬(33)

事務局長:飯野習一(19)

常任委員:<部長>米山 操(30)、村井基彦(37)、近藤亮介(45)

<副部長>川村貞知(37)、米村俊彦(43)、

前川卓(1)、東海林修(2)、河相董(8)、八木英樹(9)、青木嘉光(10)、
太田元夫(11)、花井勝三(12)、大島弘尚(14)、早川光敬(18)、大柴晋
(23)、山本和隆(24)、島崎裕之(26)、佐藤耕太郎(27)、橋本英昭(28)、
木村浩一郎(30)、増木洋介(30)、山田宏幸(30)、本多昇(34)、石渡英敬
(41)、米田哲郎(44)、福島和彦(45)、熊谷真吾(51)、渡辺丈(69)

(以上役員 33名)

支部役員:土屋至(栄光同窓カトリックの会、13)、坂本隆(サッカー部OB会、
17)、古谷哲夫(物理部OB会、21)、金子和(茅ヶ崎栄光同窓会、27)、
金田真己(栄光学園同窓会関西支部、28)、水島一郎(バドミントン部OB会、
28)、江上茂樹(NOKグループ栄光会、38)

(以上支部役員 7名、除く(兼)出席者)

各期委員:齋藤肇(7)、奥山巖(11)、前山茂雄(13)、高垣洋太郎(14)、杉浦
俊紀(16)、前田真孝(29)、武繁英昭(31)

(以上各期委員 7名、除く(兼)出席者)

総計 47名 …①

議決権行使書による回答者 68名 …②

有効投票者数合計 115名 …①+②

来賓:柳下修 校長

議長:出席委員の互選により、増木洋介常任委員(30)

会長挨拶(河原光博会長)

この1年間は、コロナ後、各期同窓会などが活発に行われた良い年であった。オンラインで海外の会員とつなぐ工夫なども見られ

て、コロナで得られた知見も感じられた。

この1年間の執行部の活動として、会費の納入方法変更を実行した。40年近く4グループ制による会費納入がとられていたが、毎年2500円の請求への一本化という形に変更した。また、オンラインの会員名簿EACONが開始10年となつたが、会員情報、特に就職先情報がアップデートされていないという課題がある。若手の会員の意見を取り入れながら、今年度の運営を進めていきたい。栄光学園に関して、2016年にイエズス会4校の上智学院との法人合併があり、今年は10年目に入る。姉妹校同窓会の連携も図っていく。また、2027年に栄光学園も創立80周年となる。創立80周年事業に同窓会も賛同し、募金委員会を立ち上げている。事業として、体育館への空調設備導入や大講堂の改修を計画している。寄付により大講堂の椅子に銘板を設置するという試みもあり、同窓生の支援を頂戴したい。

学園校長挨拶(柳下修校長)

昨年度から校長に就任し、1年間を乗り切ることができた。学園は今年79期生186名を迎えて4月をスタートした。自分は29期であるので、50歳下の中の倫理を担当している。自分自身の時はフォス校長が教壇の上を歩き回っていたのを思い出す。

学園は生徒諸君が元気に活発に活動している。それを支えるために、創立80周年事業では、体育館にエアコンを導入し、講堂リニューアルも行う。同窓生の皆さんには日頃から多大な支援を頂いており、感謝申し上げる。これからも、80周年事業を完遂するために引き続きの協力をお願いしたい。

先日、イエズス会4校の会議があった。4校の中でも栄光は恵まれた環境にあると感じている。恵まれている所を活かしながら、栄光学園の教育の精神を生徒に伝えていきたい。

第1号議案 2023年度決算承認に関する件

(1)2024年度収支計算書

(2)貸借対照表

(3)監査報告書

(1)2024年度収支計算書、(2)貸借対照表について、近藤財務部長が、議案書に沿つて説明を行った。概要は以下の通り。

2024年度は、予算においては▲5,665千円の赤字を見込んでいたところ、決算は当年度収入計9,725千円、当年度支出計13,371千円となり、差し引き収支▲3,645千円の赤字決算となった。

収入は、口座振替へ移行すると過去未納分の請求を行わないキャンペーンについてThe Eiko Alumni等でアナウンスした結果、想定以上に移行が進んだため過年度会費収入が予算比▲485千円となった影響が大きく、当年度収入計で予算比▲1,009千円となつた。なお、会費納入に係る口座振替及び振込(前年度はコンビニ払い)の内訳は以下の通り。

支出は、総務費は合計で予算比▲452千円、事業費は合計で予算比▲2,576千円となり、当年度支出計で予算比▲3,028千円となつた。これは、改めて必要な支出を見直すことにより支出を抑えられた項目が多かったこと等による。支出のうち総務費については、値上げ前に封筒の印刷発注を行つたことにより印刷費(+206千円)が大きく予算を上回つたが、会議費(▲310千円)は想定よりもリアルの会議が少なかつたことにより、また補修費(▲200千円)も当年度は特段の補修が発生しなかつたことにより、予算よりも実績を大きく抑えることができた。

事業費については、会報リスト印刷費(▲1,200千円)は発行タイミングを再検討し当年度は発行を取りやめたことにより、また会報印刷費(▲545千円)はThe Eiko Alumniの紙質を変更することによりコストが削減でき、実績が予算を下回つた。

これらの結果、貸借対照表の資産の部合計は46,710千円となり、翌年度以降の会費の前受金6,811千円を差し引いた正味財産は39,899千円となつた。

上記説明を受け、増木議長が第1号議案の(1)、(2)に関する質問・意見の確認を行つた結果、質問・意見はなかった。

続いて、(3)会計監査報告書につき、上甲会計監事から監査報告書にある通り、2024年度の栄光学園同窓会収支計算書及び貸借対照表の各事項について監査を実施し、その内容は適正なものと認めるとの報告があつた。

上記説明を受け、増木議長が第1号議案の(3)に関する質問・意見の確認を行つた結果、質問・意見はなかった。

2024(令和6)年度収支計算書

自2024年4月1日
至2025年3月31日

栄光学園同窓会
(単位:円)

収入の部	予 算	決 算	差 差	備 考
1. 前 年 度 総 総 金	50,355,986	50,355,986	-	
2. 当 期 収 入				
入 会 金 収 入	549,000	549,000	-	72期入会金@3,000円×183名
会 費 収 入	11,000,000	10,872,500	△ 127,500	16期～72期会費収入
過 年 度 会 費 収 入	800,000	315,000	△ 485,000	
受 取 利 息 収 入	1,000	2,217	1,217	定期預金等の利息
雜 収 入	-	69,780	69,780	寄付等収入
前 受 金 収 入	2,741,500	2,273,500	△ 468,000	73期171名入会金、4年分一括振替前受(調整勘定)
当 期 末 前 受 金	△ 4,356,500	△ 4,356,500	-	
当 期 収 入 計	10,735,000	9,725,497	△ 1,009,503	
収入の部 合 計	61,090,986	60,081,483	△ 1,009,503	

支出の部	科 目	予 算	決 算	差 差
1. 総 費 用				
給 与	3,580,000	3,602,576	22,576	事務局長、事務局員給料
通 信 費	600,000	649,179	49,179	郵送料、電話料等
交 通 費	600,000	518,899	△ 81,101	各委員会、事務局員交通費等
印 刷 費	800,000	1,006,170	206,170	各種印刷(会費請求書、変更葉書等)
事 務 用 品 費	120,000	145,098	25,098	コピー用紙、インク、封筒代等
会 議 費	500,000	189,806	△ 310,194	定期総会、委員会等
慶弔 弔 費	500,000	578,800	78,800	香典、生花代
器 具 備 品 費	200,000	171,820	△ 28,180	リース料、その他備品買い替え等
手 数 料	550,000	362,810	△ 187,190	振込手数料、ファクタリング手数料等
補 修 費	200,000	-	△ 200,000	
雜 費	50,000	72,281	22,281	
予 備 費	50,000	-	△ 50,000	
小 計	7,750,000	7,297,439	△ 452,561	
2. 事 業 費				
会 員 リ ス ト 印 刷 費	1,200,000	-	△ 1,200,000	
会 報 印 刷 費	1,800,000	1,254,462	△ 545,538	栄光アラムナ101号、102号印刷費
發 送 費	2,000,000	1,651,496	△ 348,504	栄光アラムナ等発送費
編 集 取 材 費	100,000	-	△ 100,000	アラムナイ、ホームページ取材費
ホ ーム ペ ー ジ 運 営 費	1,000,000	939,962	△ 60,038	ホームページ、EACON業務委託費
コ ン テ ン ツ 制 作 費	200,000	110,000	△ 90,000	同窓会公式グッズ制作費等
ホ ー ム ・ カ ミ ン ク ' テ ' 運 営 費	400,000	385,474	△ 14,526	
支 部 ・ 活 動 グ ル オ ー ブ 等 支 援 費	850,000	644,829	△ 205,171	同期会補助、EACON推進補助等
OB ゼ ミ 運 営 費	150,000	142,500	△ 7,500	
栄 光 OB フ ォ ーラ ム 運 営 費	300,000	50,000	△ 250,000	リモートでの開催
IJAFH 等 活 動 費	150,000	288,217	138,217	
同 窓 会 記 念 品 制 作 費	250,000	356,970	106,970	73期卒業生お祝い記念品
寄 付 金	250,000	250,000	-	- 東ティモールイエズス会支援
小 計	8,650,000	6,073,910	△ 2,576,090	
当 期 支 出 計	16,400,000	13,371,349	△ 3,028,651	
3. 次 年 度 総 金	44,690,986	46,710,134	2,019,148	
支 出 の 部 合 計	61,090,986	60,081,483	△ 1,009,503	
取 支	△ 5,665,000	△ 3,645,852	2,019,148	

以上を受けて、増木議長が第1号議案の(1)、(2)、(3)について、議案の可否を諮つた。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第1号議案は承認された。

第2号議案 役員選任に関する件

河原会長が議案書に沿つて、2025年度役員候補者について説明を行つた。概要は以下の通りであり、会計幹事として木村浩一郎さんが新任となる。

会長: 河原光博(37期)

副会長: 高橋英治(28期) 大須賀喜彦(39期)

会計監事: 木村浩一郎(30期) 上甲雅敬(33期)

事務局

2025年度 同窓会定期総会報告 (2)



以上を受けて、第2号議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第2号議案は承認された。

第3号議案 2025年度事業計画承認に関する件

大須賀副会長が議案書に沿って、2025年度事業計画について説明を行った。概要は以下の通り。

2024年度は、世の中がコロナ禍から本格的に抜け出したことに歩調をあわせ、各期の同期会や支部の活動が大変活発に行われた。2025年度も、引き続き会員同士の交流を促進し、年代を越えた会員交流の場を提供していく。あわせて、当会の現状と昨今の世の中の変化を踏まえた諸課題の解決に引き続き取り組んでいく。

歴史文学散歩や同窓会追悼ミサ等の事業を着実に継続しながら、新たな事業展開を模索していく。学園の教育活動支援として20年以上取り組んでいる「OBゼミ」の前年度の担当期を講師とした「栄光OBフォーラム・オンライン」等、コロナ禍で培った“オンライン”的ノウハウを存分に活かし、対面とリモートのメリットを活かしたイベント等を企画・検討していく。また、2016年の法人合併から10年目となるイエズス会姉妹校各校の同窓会(六甲伯友会・広島学院翠友会・上智福岡泰星会)ならびに上智学院と連携した合同イベント等、これまで以上に積極的に展開していく。

新たな事業展開を模索する中で、「栄光ヒミツキチ」など20代~40代の会員の要望・アイデアを「自分たちがメンバーとして企画・実行する」活動の後押しをすることで、同窓会活動のすそ野を広げていく。引き続き同期会・支部の活性化を促すとともに、必要な支援を行う。各委員会、支部会、イベントなどをきっかけとし、若手委員、幹事の発掘に努める。

昨年、運用開始から10年の節目を迎えたオンライン会員名簿EACONについては、会員情報の維持管理、その中でも特に「会員情報の更新」について課題を認識している。昨年に引き続き、「会員情報の維持管理と利活用」について、今後取り得る手段やそれを踏まえた方向性について検討・実行していく。

2022年度からの検討内容を踏まえ、会費の請求方法・管理方法について変革のスタートを切った会費に関する諸課題につい

ては、新たな課題に立ち向かいつつ、会費納入率の向上に向け歩みを止めず「前進解決」していく。また、想定以上に進んでいる物価上昇等を踏まえ、当会の永続的な運営を前提に、コスト面を意識したより効率的な運営に取り組むとともに、適切な収支バランスについて引き続き検討していく。

同窓会報The Eiko Alumniを中心に、引き続きThe Eiko Alumni・同窓会HP・同窓会SNS等の各種媒体を活用した情報発信を行っていく。また、同窓会グッズについても、さらに魅力あるラインナップとすべく引き続き検討していく。

学園のアーカイブ情報の整理に引き続き協力するとともに、アーカイブ情報のホームページ掲載などもさらに進めていく。

学園、後援会、姉妹校同窓会との連携を一層強化するとともに、母校創立80周年の節目に学園が進めている「栄光学園創立80周年事業」の趣意に賛同し、学園の財政的負担の軽減を目的とする「栄光学園創立80周年事業『未来EiKO募金』」に協力していく。(同窓会長が募金委員会の委員長に就任)

議案書に沿っての、財務部、事業部、広報部、総務部の個別の事業計画の説明を受け、増木議長が第3号議案に関する質問・意見の確認を行った。

意見1: 同期会や支部活動の後押しをするよう支援するということで、補助を行っているが、そのような支援を必要としない時代になっているのではないか。赤字決算の中で、この様な同期会開催補助のような一部会員に全体の支出が使われるものは少なくとも廃止するべきではないか。

回答(河原会長): 同期会や支部活動支援は金銭的なものよりも人的支援・連絡サポート・情報支援を中心に支部や各期の活動を支援している。また、支援費の多くは規約に基づき、卒業50周年・25周年・10周年・成人式記念同窓会のお祝い金や補助金として支出しているものである。厳しい財政の中で必要なものを取捨選択しながら対応したい。

質問1:EACONについて、情報がアップデートされないと利用度が下がることになる。こういう時に役に立ったという具体例があると推進活動を進めやすいと思うが、いくつか事例があれば教えて欲しい。

回答(河原会長・大須賀副会長): ビジネスシーンの中で取引先に栄光の同窓生がいることがEACONで分かると、有効に感じることが多々ある。EACONはスマホでの検索できることも便利。学生OBの就職活動で利用してほしいという思いもある。こうした点もあり、卒業10年以内の会員に就職先情報をアップデートしてもらいたいと考えている。

意見2:自分が活動サポート部長の際に北海道に赴任していると

きに、北海道で支部を立ち上げるために、EACONで北海道在住者を一気に検索することができた。このようなデータ的な使いができるということをマニュアルだけでなくアラムナイなどで周知すると良いと思う。

回答(河原会長): 有益な意見であり、参考とさせていただく。

意見3: 常任委員が不在の期がある。期の代表となつてもらい、常任委員から各期に重要な事項を伝えもらうことが良いと思うので、各期に常任委員を置くように執行部でも働きかけていただきたい。

回答(河原会長): 各期に常任委員を置けるよう人材発掘に努めていく。

質問・意見聴取の後、増木議長が第3号議案の可否を諮った。

アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第3号議案は承認された。

第4号議案 2024年度収支予算案承認に関する件

近藤財務部長が2025年度収支予算案について、議案書に基づき説明を行った。概要は以下の通り。

予算案は、各部が2025年度事業計画案で策定した事業に予定される費用を見積り、それらを合計して作成している。

収入については、口座振替への移行が進んでおり安定的な収入が見込めるに加え、前受分の減少に伴い振込による納入依頼数及び納入額の増加が見込まれるため、前年度よりも増加すると見込んでいる。

支出については、前年度から引き続き同窓会活動の活発化を計画していることもあり、全体的に各部の予算が前年度の実績よりも増加している。具体的には、総務費は前年度の実績をベースに、昨今のインフレ等を勘案して交通費や会議費等について増額を見込んでいる。

事業費も、当年度は会員リスト印刷費を予算化していない一方で、OBフォーラム等のイベントや、支部・活動グループ等への支援、またアラムナイ及びホームページ運営等の重要な同窓会活動の費用を中心に、前年度実績よりも予算を増額している。これらの結果、当年度収入計10,330千円、支出計15,160千円の積極的な予算案となっている。

上記説明を受け、増木議長が第3号議案に関する質問・意見の確認を行った。その際に議決権行使書に経費削減についての意見記載があったため、その内容についての説明も行った。

2025(令和7)年度収支予算案

自2025年 4月 1日
至2026年 3月 31日

栄光学園同窓会

科 目	(ご参考) 2024年度実績		予 算	備 考
	2024年度実績	予 算		
1. 前 年 度 繰 越 金	50,355,986	46,710,134		
2. 当 期 収 入	549,000	516,000	73期入会金@3,000円×172名	
入 会 金 収 入	10,872,500	11,000,000	17期～73期会費収入	
過 年 度 会 費 収 入	315,000	300,000		
受 取 利 息 収 入	2,217	1,000	定期預金等の利息	
雜 収 入	69,780	-		
前 受 金 収 入	2,273,500	2,327,000	74期179名入会金、4年分一括振替前受	
(調整勘定)				
前 期 未 受 金	△ 4,356,500	△ 3,813,500		
当 期 収 入 計	9,725,497	10,330,500		
収 入 の 部 合 計	60,081,483	57,040,634		
支出の部				
1. 総 務 費				
給 与	3,602,576	3,900,000	事務局長、事務局員給料	
通 信	649,179	650,000	郵送料、電話料等	
交 通	518,899	600,000	各委員会、事務局員交通費等	
印 刷	1,006,170	800,000	各種印刷(会費請求書、変更葉書等)	
事 会	145,098	150,000	コピー用紙、インク、封筒代等	
慶 器	189,806	400,000	定期総会、委員会等	
器 具	578,800	500,000	香典、生花代	
手 補	171,820	200,000	リース料、その他備品買い替え等	
手 補	362,810	360,000	振込手数料、ファクタリング手数料等	
雜 備	72,281	50,000		
小 計	7,297,439	7,660,000		
2. 事 業 費				
会 報	1,254,462	1,500,000	栄光アラムナイ印刷費	
印 刷	1,651,496	2,000,000	栄光アラムナイ等発送費	
發 送	-	100,000	アラムナイ、ホームページ取材費	
編 集	939,962	1,000,000	ホームページ、EACON業務委託費	
集 取	110,000	200,000	同窓会公式グッズ制作費等	
材 費	385,474	400,000		
ホームページ運営費	644,829	900,000	同期会補助、EACON推進補助等	
コンテンツ制作費	142,500	150,000		
ホーム・カミングデイ運営費	50,000	300,000		
OBゼミ運営費	288,217	300,000		
JJHAF等活動費	356,970	400,000	卒業生お祝い記念品	
同窓会記念品製作費	250,000	250,000	東ティモールイエズス会校支援	
寄 付	6,073,910	7,500,000		
小 計	13,371,349	15,160,000		
次 年 度 繰 越	46,710,134	41,880,634		
3. 支 出 の 部 合 計	60,081,483	57,040,634		
支 支	△ 3,645,852	△ 4,829,500		

意見4(書面意見): 各種資料のオンライン配信化による経費削減について検討の余地があるのではないか。

回答(河原会長): オンライン配信化が活発になる一方で、紙媒体での配布を希望する会員も多いので、直ちに廃止することは難しいと考えている。ご意見の通り、今後も技術の進歩の状況を見ながら、経費のできるだけの削減を含む効率的な会の運営を図っていく。

質問・意見聴取の後、増木議長が第4号議案の可否を諮った。アロイジオ会館及びオンライン出席者による賛成と議決権行使書分と併せ、賛成多数と認め、第4号議案は承認された。

10.閉会の辞

69期渡辺さんが閉会の辞を述べ、2025年度栄光学園同窓会定期総会は滞りなく終了した。

以上

歴史・文学散歩

25.3.26

牧野記念庭園-石神井公園-長命寺を歩く



三宝寺にて▲

今回の散歩、昨年2月に亡くなった元同窓会事務局長三春勝正氏(6期)最後の企画でした。三春氏は、元本校社会科教師金子省治先生の後を継いで、この同窓会歴史文学散歩を十数年にわたって企画し案内してくださいました。ここ数年は年度末に東京の桜を巡りながらの散歩を計画してくださいました。

出発地の大泉学園駅は西武池袋線の練馬区内の最西の駅です。練馬区は戦後1947年板橋区より分離し成立しました。23区内の北東部になり、私は足を踏み入れた事ないと思っていましたが、在学中の年度末の黙想会に参加した上石神井の「黙想の家」はこの練馬区の南端でした。駅の南に、牧野富太郎博士が1926年以来亡くなる1957年まで活動拠点となされた地が記念公園として公開されています。

次に訪れた三宝寺池は武蔵野台地からの湧水池で下流の石神井池とともに、石神井公園として、武蔵野の自然環境を保護されきました。

この公園の南に残る豊島氏が祀った氷川神社、豊島氏滅亡後この地に移された三宝寺を巡り、区立「ふるさと文化館」で昼食となりました。石神井池からも流れる石神井川両岸は桜並木が整備されていましたが、残念ながら今年も桜は蕾のままでした。

最後に訪れた長命寺は、江戸時代「東の高野山」として江戸庶民の信仰を集め史跡「奥の院」も現存しますが、平地で宅地がせまり、残念ながら面影はありませんでした。この一帯は高野台と呼ばれ解散地「練馬高野台駅」にその面影を残しています。今回も18名の参加者とともに無事散歩ができました。

大島弘尚(14期)

25.5.27

宿場町から保養地となった大磯を歩く

以前個人的に吉田茂邸に行ったことはあるが、大磯をもっと知りうと思いついた今回参加することにした。今日の仲間はリーダー大島先生、OB会事務局女性2名を含む3期から21期までの21名。大磯駅下車が初めての人もいたようだが、隣にコンビニが1軒あるだけの駅前はかなり地味だ。集合がみな早く10時前に旅程案内と自己紹介を終え、駅すぐのエリザベスサンダースホームに向かう。この日は本来閉園日なのだが幹事団の事前手配のおかげで見学が可能となり、栄光のオス校長とご縁があったという宮崎道忠理事長から施設の詳しい説明と案内を受けた。

ここは三菱財閥岩崎弥太郎の孫娘澤田美喜さんが戦後混血の孤児を収容した施設で、延べ2000人の子供の面倒を見たという。

その後聖ステパノ学園として小中学校も併設されている。彼女の死後その功績を記念してノアの箱舟を模した記念館が設立され、彼女の功績と隠れキリストの資料が展示されている。長崎や五島列島の観光でも見たことのない十字架やマリア像、踏み絵などの遺物はめずらしく、とくに表面は普通の仏像で裏面下部のふたを外すとキリストの磔刑像が刻まれている小像が印象に残った。

かなり丁寧にここを見学してから、海岸の方角に向かい旧東海道(国道一号)を小田原方向に歩く。鎌倉でよく買う井上蒲鉾店はここが発祥という本店(はんぺんがおいしかった)、文豪島崎藤村の墓がある地福寺(墓石は質素)、同志社大の創立者・新島襄終焉の地の石碑(療養先が大磯だった)、日本三大俳諧道場の一つといいう鳴立庵(入場は出来ず)、今移転でもめている現大磯町役場、藤村旧宅(藤村晩年に2年過ごした平屋建ての小民家)などの歴史?名所に立寄りながら歩くこと1時間15分、ようやく名物の松並木の横にある最近完成・再公開したばかりの明治記念大磯庭園に到着した。ここには大隈重信や陸奥宗光の旧別邸がある。時刻もちようど12時、屋敷の前のすてきな庭園で記念写真を撮り、その後園内で三々五々の自由昼食となつた。

海を見ようと園内はずれの東屋に向かったが、西湖バイパスのせいで期待の景色は得られず、少し戻ったバラ園の横のベンチで仲間と軽食をとつた。ここなら車の音は聞こえないし、赤・黄・ピンクのバラの花がきれいだ。大隈重信邸の中をのぞく。屋外同様、立派な造作の屋敷内はよく整備されていて、明治の元勲の悠々たる生活ぶりを偲ぶことができた。園内は広く見どころも諸所にあり、これが入場無料とはすばらしい。隣接地では伊藤博文邸や西園寺公望邸の再整備も進んでおり、全部が完成したらまた訪問しよう。

1時に再集合し30分ほど西に進むと最終目的地の吉田茂邸の標識が見えてきた。立派な兜門を入ってすぐ右に休憩所兼事務所があり、少しここで休む。吉田茂といえば戦後の日本を導いた大政治家だが、この屋敷は2009年に母屋が失火して焼失し、2016年に再建されたという。係の案内では金の間・銀の間・応接間・書斎などを見学したが、いずれも調度や照明具の趣味の良さに感心した。2階からは曇り空なのに雪が残る富士山も遠望できて大満足。

ここから帰りはバスで大磯駅に戻り解散となつたが、落伍者もなく皆無事に完歩できたのはよかったです。今まであまりなじみのなかつた大磯だが、こんなに密に見るべきところがあるとは知らなかつた。これからも興が乗ればこの会に参加してみようと思う。今回も12期が9名ほど参加したので、他の有志とともに近くのオープンカフェで拡大同期会を開催し、大いに盛り上がつた。

佐竹信一(12期)



吉田茂邸にて▲

続々

歩く大会に関する記事(102号、103号)について

アラムナイ102号の特集記事「歩く大会の変遷」には大きな反響がありました。「私の記憶では…」といったご指摘も幾つか寄せられ、それを元に103号には修正案が掲載されました。すると「むしろ修正記事に間違いが多い」というご意見も寄せられました。特に1960年代に在籍された卒業生からのご指摘は、雑誌「栄光」の記事を丁寧に調べた上でのものでした。実はほぼ同じ時期に在籍した私が見ても103号の記事には違和感がありました。そこで60年代の「Eiko News Flash」を図書室でお借りして調べ直しました。結果を年代順に示します。

1960.1.30 第12回(結果的に最後の)強歩会

- ③中学:久里浜 - 逗子(31km)
④高校:馬堀海岸 - 逗子(35km)

1961年 強歩会中止

道路交通法(前年12月)によりマラソン不可のため

1962年 実施せず「強歩会また中止」の記事

1963年 実施せず(記事なし)

1964.2.1 第13回「栄光歩く大会」として復活

- ③中学:久里浜 - 逗子(30km)
④高校:馬堀海岸 - 逗子(40km)

このとき高校コースに変更あり。←

雑誌「栄光」の行事一覧には「強歩会」と記載されている「歩く大会」という名称はまだ定着していないようです

1964.9 大船キャンパスで新学期

1965.2.13 第14回歩く大会③④

雪、中学入試などのために実施時期が例年より遅かつた。

103号に掲載の「開催していない記憶」は開催時期と関係しているかもしれない

1966.1.29 第15回歩く大会③④

1967.1.28 第16回歩く大会③④

1968.1.27 第17回歩く大会③④

1969年 中止

- 1.25 三浦コースで実施予定
→ 2.10 山北-渋沢の新コースに変更して実施予定

→ インフルエンザで中止

1970.1.24 第18回歩く大会 新コースで実施

大船から貸切バスでスタート地点へ

- ⑤中学:尺里-渋沢(21km)

- ⑤高校:山北-大秦野(27km)

1971.1.23 第19回歩く大会

行きも帰りも貸切バスを利用

- ⑥中学:尺里-国道246のドライブイン(21km)

- ⑥高校:山北歩道橋-国道246のドライブイン(23km)

アラムナイ102号に掲載した年表から抜粋

1947.4	栄光学園、田浦キャンパスで開学
1949.2	第1回「競歩会」 ①久里浜駅~引橋~逗子コース(30km) 競歩の名のとおり、歩くよりも走りに近かつたらしい。
1952.2	第4回「競歩会」(名称が競歩会→強歩会に)
1954.2	第6回 コース変更 ②[中学]二宮駅~鎌倉コース(32km) [高校]二宮駅~鎌倉~逗子コース(36km) 開催時期が2月のため、高3は参加しないのが通例。
1955.2	第7回 雨天につき途中打ち切り。 第8回 コース変更 ③[中学]久里浜駅~引橋~逗子(30km) [高校]馬堀海岸駅~久里浜~引橋~逗子(35km) 馬堀海岸から三浦半島を海沿いに周り逗子の聖マリア小学校。中学生は国鉄久里浜駅から合流。
1960.6	道路交通法が制定。法の目的に道路交通の「安全」のみならず、道路交通の「円滑」を図ることを加えられた。
1961	大会中断。道路交通法の規制により、マラソン的大会は不許可。また、引橋~逗子間の道路使用も交通量が多いことから不許可。
-1963	第13回「栄光歩く大会」と名称変更。絶対に走らないことを条件に、道路使用の許可を受け、4年ぶり復活。
1964.2	大船キャンパスで新学期
1964.9	第15回。高校のコース変更。 ④馬堀海岸駅~引橋~逗子(40km)
1966.1	馬堀海岸~久里浜間のコース変更で35km→40kmに。 この回が期せずして馬堀海岸~逗子の最終回となる。
1968.1	風邪(香港インフルエンザ)の大流行で中止。
1969.1	第18回 コース変更 ⑤[中学]尺里~第六天~渋沢(21km)
1970.1	⑤[高校]山北駅~尺里~第六天~大秦野駅(27km) この頃は、大船観音下からクラスごとのバスで、スタート地点まで向かう。尺里は山北駅から2kmほどの国道246号線沿いの周辺の山登りコースの起点。
1971.1	第19回 コース変更 ⑥[中学]尺里~第六天~246号沿いのドライブイン(21km)
1973.4	⑥[高校]山北駅~第六天~246号沿いのドライブイン(23km) 上智短期大学が秦野に開学
1974.1	第22回 コース変更 ⑦[中学]尺里~第六天~上智短大(25km)
1975.1	⑦[高校]山北駅~尺里~第六天~上智短大(27km) 雨(ところにより雪)により学校出発後中止決定
1975.4	第23回 春の遠足の代わりに実施
1976.11	第24回 国鉄スト、集中豪雨等により授業日数調整。 1977.1の予定を前倒して実施。

期別コース早見表(一部改訂版)

年	コス	中	高
1959.1	③	12	7
1960.1	×	13	8
1961	×	14	9
1962	×	15	10
1963	×	16	11
1964.2	④	17	12
1965.3	④	18	13
1966.1	④	19	14
1967.1	④	20	15
1968.1	④	21	16
1969	×	22	17
1970.1	⑤	23	18
1971.1	⑥	24	19
1972.1	⑥	25	20
1973.1	⑥	26	21
1974.1	⑦	27	22
1975.1	⑦	26	21
1976.11	⑧	28	23
1977.10	⑧	30	25

※コースの番号と発着地点の対応は102号をご覧ください。

今回調べたのはここまでです。

それにもう自分の記憶は当にならないものだと改めて思い知らされました。1月下旬実施なので高校三年生は参加しないのが通例だけれど、「丹沢コースを一度体験したい」と思って19期生20名ほどが手を挙げた(71年1月)とずっと思っていましたが、実は前の年から新コースだったんですね。そういうゴール地点が一度は駅(大秦野らしい)で休む場所もなく帰宅した回と、帰りもバスに乗った回がありましたね。

一方で中2か中3の歩く大会、逗子に近いどこかのお店から「逢いたくて逢いたくて」(園まり)が聞こえてきたなどという珍しい記憶は妙に鮮明です。

同窓会事務局長 飯野習一(19期)

第8回 オール栄光ゴルフコンペ



栄光同窓生ゴルファーが年に一度真夏に競う「オールEIKOゴルフコンペ」も、2016年の第1回開催から数えて今年で8回目を迎えました。開催日の8月31日は、都内は36度超えの酷暑予想。ゴルフと言えば、「雨模様かどうか」で幹事が頭を悩ませるのが常でしたが、昨今の夏は「気温がどこまで上がるのか」が心配材料に様変わりしつつあります。参加者は最年長期の20期から最若年期の64期まで44歳差の概ね三世代、全18の期のゴルファー、さらには小泉渉先生、林直人先生も交えた総勢98名が、名門よみうりゴルフ俱楽部に集いました。

酷暑予想により懸念された当日キャンセルはゼロ、各自暑さ対策も万全に、午前9時にいざラウンドスタート。競技形式は例年通り、個人対戦のネットスコア戦とグロススコア戦、期対抗の団体戦ネット戦とグロス戦の4つになります。ネットスコア戦は、当日の運次第で「ハンディ」がつくハンディ戦、グロススコア戦は真の実力者を選ぶ「ガチンコ対決」になります。ネット戦は運がモノを言いますので、多くの人数をエントリーした期が有利になります。幹事期の我が27期は、「イベント好きの期」の面目躍如で19名ものエントリーを果たしました。二番手は10名の39期、三番手は7名の31期でした。

OBゼミ、今年も順調

2025年度は35期と45期。放課後の部は聴講可。

OBゼミは栄光学園の高1ゼミの一つの選択授業として実施されています。今年度は35期と45期が担当で、それぞれの期で十数コマを提供しています。ただ、それだと「高1しか聴講できない」ということで、全年が参加可能な放課後ゼミとして講師の方にはもう一コマを担当していただいております。放課後の部については、各期の幹事にご連絡いただければ、OBの方も聴講可能な場合があります。

同窓会公式Facebookでは講義予定日等がわかり次第、講義タイトルと担当者を告知させていただいております。水曜日の夕方にはになりますが、ご興味ある方は是非。

同窓会事業部

実施済みの講義タイトルと担当講師

- 4月30日 「元会計士が歩む総合商社の経理キャリア
～営業だけが商社マンではない～」
平川 大輔(45期) 住友商事株式会社

予報に違わず気温もグングン上がる中でしたが、午後4時過ぎには98名全員が無事完走できました。その結果、個人ネット戦では、39期の水田実さんが何と4.2アンダーのスコア67.8で、2位の林先生に2.4打差をつけるぶっちぎりの優勝を飾りました。同じく団体ネット戦(各期の上位4名の成績が対象)でも、39期がベスト10に3名が入賞、4人目も16位という圧倒的な強さで、こちらも2位の27期に1.4打もの差をつけて優勝(ということで、次回の幹事期は39期です)、個人戦W優勝の偉業を成し遂げました。

一方、実力ナンバーワンを決めるグロス戦では、個人戦が34期の中澤竜馬さんが3オーバーのスコア75でベスグロを獲得。今回初めて30期台が王座につきました。団体グロス戦では、参加エンター数三番手の31期がベスト10入り2名を含め22位までに4名が入り、「実力ナンバーワンの期」の称号を手に入れました。その他にも順位飛び賞やドラコン、ニアピン、大波、小波、水平賞等、のべ42名の方々が懇親パーティの会場で表彰されました。

今回の開催にあたっては、「コンペサポーター」として各期に「ゴルフ幹事役」を任命させていただき、各期への連絡や募集促進、メンバー調整を担っていただきました。そのお陰もありまして、これまでの大会以上に各期内の結びつきも強まり、参加人数の増加、参加期の拡大に大いに貢献いただきました。

第8回大会 幹事代表 渋谷直人(27期)



団体優勝の39期 ▲

- 5月 7日 「最適化問題への誘い」
一場 知之(45期) Univ. of California Santa Barbara 教授
- 5月 14日 「ゲームばかりだった落ちこぼれ高校生が、
テレビ局でAI新規事業を立ち上げた話」
加藤 大樹(45期) 日本テレビ放送網株式会社
- 5月 21日 「果樹の新品種を作る 国立研究開発法人での仕事」
河野 淳(45期) 国研 農業・食品産業技術総合研究機構
- 6月 18日 「原風景をつくる・ともにつくる」
住吉 剛彰(35期) 鹿島建設株式会社
- 6月 25日 「SMBCTてどんな会社」
井沢 知己(35期) 三井住友フィナンシャルグループ
- 7月 2日 「人生いつでもフリータイム！」
カラフルでヘルシーな社会を目指して☆」
開澤真一郎(35期) NPO法人 NICE 代表
- 9月 10日 「ある人文学研究者の日常」
安田 敏朗(35期) 一橋大学大学院 言語社会研究科 教授
- 9月 17日 「地方の小さな美術大学で働く(までの)お話し」
水田 圭(35期) 秋田公立美術大学 准教授

栄光学園後援会について

栄光アラムナイをご覧の同窓生の皆さんは栄光学園後援会という組織をご存じでしょうか。ご実家で暮らしている方なら御父母宛てに毎年12月初旬に後援会だよりが届くのをご存じかも知れません。かく言う私も同窓会副会長という立場で後援会理事に名を連ねるまで全くと言っていいほど後援会のことを知りませんでした。実は後援会組織はフォス先生のご意向により1977年2月に設立し、栄光学園の教育・運営方針を尊重し、同学園の維持および発展に寄与すること目的とした活動を50年近くも続けています。

栄光学園に入学すると中学校2年生になった時点から月々1000円(2024年度積立開始学年からは月々1200円)の積み立てを行い、卒業時にこれらの積み立てた額を入会金として御父母の方が後援会に入会する流れとなっています。(若干ですが入会を辞退されるご家庭もあります。)こうして得られた入会金をまとめて栄光学園に寄付しているのが後援会です。したがって、この時に後援会に入会された御父母の方々は以降も年会費などは不要のまま継続して会員であり、毎年後援会だよりがお手元に届くという仕組みです。この他にも卒業生ご自身が後援会に入会(入会金は1口1万円で3口以上)することもでき、卒業後10年ならびに38~40年を経過した同窓生に入会の呼び掛けをしております。

こうして得られる学園への寄付金は例年、800万円ほどです。5年間、月々1000円を積み立てた一学年180名の合計が1080万円で

すが、辞退者もあり、後援会だよりの印刷発送、事務員手当等の経費を差し引くと、これがギリギリの寄付金額となっています。

卒業時の入会手続き一度きりで、ご子息の栄光学園卒業後も御父母の方々が継続して後援会を通じて栄光学園との絆を保てるというものが素敵なことだと思います。

実際にこうした御父母の方々が如何に栄光学園との関係を大事にされているかも同窓生の皆さんにお伝えさせてください。

現在、栄光学園創立80周年記念事業に関わる募金を行っております、募金委員会は学園、同窓会、後援会、栄光会(在校生御父母)で構成されております。それぞれの組織で募金を呼び掛けておりますが、後援会においては募金のお願いを郵送するや多くの御父母の方々からご寄付を賜り、7月23日現在で197件に達しています。同窓生からのご寄付が同492件であることからも、御父母の方々の栄光学園への関心の高さが知れると思います。

同窓生の皆さんには、ご子息が栄光学園に入学されているケースを除き、後援会という組織が縁遠いかも知れませんが、栄光学園を大事に思う気持ちは同窓生ご自身ばかりではなく、御父母の皆さんも同じであることをご案内いたしました、栄光アラムナイにて紹介させていただきました。今後も引き続き栄光アラムナイで後援会の活動を紹介していきたいと考えております。

同窓会副会長 高橋英治 (28期)

イエズス会恩師の追悼ミサと墓所で校歌を大合唱する集い



(6期呼びかけ人; 鈴木顕一、高岡 忠、角村新太郎、中村保夫、浜田利郎、八木克道、湯澤三郎)

記

一関根悦雄元校長と6期塩谷惠策両司祭による共同司式一

イエズス会墓所に眠る恩師は、G.フォス、H.ヘルヴェグ、H.シュトルテ、H.ウルフ、J.エレンボス、V.サバヤ、J.ピタウ、P.ペレッティ、大木章次郎、土屋吉正、生熊秀夫、富田 優、中村 工、小崎次郎(ブレナン)などの先生がたです。ご参加はカトリック信者・未信者を問いません。ご同伴も歓迎です

日時:2025年11月29日(土) 午後3時から

追悼ミサ、その後墓所に移動して「千里の波濤」と「緑なす相模野」を大合唱し4時過ぎに終了予定。

場所:聖イグナチオ教会・ザビエル聖堂

(イグナチオ教会主聖堂入口の右にある階段横が入口、最寄り駅はJR/メトロ 四ツ谷駅)

ミサの意向:お世話になったイエズス会恩師並びに教職員・卒業生の冥福を祈る。

参加申込:申込フォーム(右のQRコード)より

11月20日までにお申込みください。

お問合せ先:湯澤 三郎(6期)

<yuzawasf@ybb.ne.jp>



栄光ヒミツキチ通信 pick up!

参加登録はこちら(栄光ヒミツキチ入口) ↓

栄光ヒミツキチとは

25.5.10-11

もういちど「大学」を語ろう

今年も栄光ヒミツキチでは、5月に開催された栄光祭においてOBの部屋の一角をお借りし、「もういちど「大学」を語ろう@第78回栄光祭 OBの部屋」を2日間にわたり開催しました。

この企画は「大学」をテーマに、2日間で6つの企画を用意し、様々なくくりでOBの方をお呼びし、30分～1時間のパネルディスカッションを行うというものです。今年は昨年に引き続き、対面会場で開催された模様を収録し、後日動画として栄光ヒミツキチウェブマガジン「栄光ヒミツキチ通信」に掲載しました。

各回のタイトルは、「三大学混合！大学生ぶっちゃけ座談会」「来場者参加！ヒミツキチラジオ公開収録」「栄光学園の進路担当と語る！」「へん愛する大学生たち」「大学はどうやって動いているのか？」「大学での学びは教授に聞くのが一番」

31期から72期まで計10名のOBの方にご登壇いただき、現役大学生から栄光学園教諭、大学教授、大学理事にいたるまで、様々な視点から「大学」について語っていただきました。今年も登壇者へのお声がけは同窓会執行委員の皆様にもご協力いただき、世代を超えたトーケで盛り上がりました。会場で企画を見てくださった方々はもちろんのこと、後日動画を視聴してくださった方々から多くの反応を頂戴しました。

パネルディスカッションに参加してくださったOBの皆様、ならびに登壇者選定や会場運営にお力添えをしてくださった同窓会執行委員の皆様に感謝申し上げます。

当日の模様は栄光ヒミツキチのウェブマガジン「栄光ヒミツキチ通信」の「イベント・活動報告」より全編ご覧いただけます（ご視聴には栄光ヒミツキチへの登録が必要です。ページ上部のQRコードよりご登録ください）。



【栄光ヒミツキチ 12月に、5周年】

栄光生が記事を書き、栄光生が編集し、栄光生が読めるオンラインマガジンです。
「栄光生を縦にも横にも繋げまくる」をモットーに、栄光生の経験や思いを気軽に発信し、
栄光生が知らない世界を手軽に知ることができる媒体を目指します。
週に一度は何かしらの記事が更新されます。 ※栄光生は栄光OB+現役生の総称



～先輩に訊く栄光生の未来～

栄光ヒミツキチRadio@YouTube

毎月1回土曜21時から放送中！

#78 栄光祭実行委員長現役生×卒業生スペシャル対談

…第78回/第76回/第72回の栄光祭実行委員長が大集合！

#80 「本当の私」に素直に！My Purpose Drivenのすすめ

…ゲストは44期富岡洋平さん。「役割としての私」と「本当の私」を知る大切さを学ぶ！

特派員レポート

斎藤、二十歳で大学生始めました。

…2浪連載から新2浪連載へ。受験を終えたあとの続ぎの物語！

玉澤&吉澤のザッツ・大学1年生！

…栄光ヒミツキチ運営に2人の73期がメンバー入り！実はヒミツキチ参戦歴は長い2人による大学1年のリアルレポート！

栄光生の自由発信場(実名編)

黒木宏の雑談場(24期 黒木宏さん)

#9 Magical Moments ①ロープマジック

…雑談場はマジックの連載へ。実践動画に種明かしまで！？

栄光生の自由発信場(匿名編)

就活戦線異状なし～企業から見た就活とは？

…30期代OBが就活のあれこれを企業目線で語る！就活生必見！

大学オープンキャンパス

#10 大阪大学外国語学部(71期 家村幸大朗さん)

…阪大といえば外国語学部！スワヒリ語専攻ってどんなところ？



Information

計報 2025年3月1日～8月31日判明分

教職員

リーノ・シュタール神父（英語）2025年3月13日
ドナル・ドイル神父（英語）2025年5月6日

卒業生

嶋野 洋介 氏	(25期)	2023年10月23日
山本 泰生 氏	(25期)	2024年4月10日
小脇 祥敬 氏	(7期)	2024年6月17日
庄司 敦 氏	(26期)	2024年6月18日
兒玉 多曜 氏	(25期)	2024年11月30日
渡辺 誠一 氏	(5期)	2024年12月17日
可児 寿夫 氏	(14期)	2025年1月8日
近藤 昌夫 氏	(13期)	2025年1月13日
松井 哲士 氏	(11期)	2025年1月22日
茂木 明 氏	(18期)	2025年2月18日
吉田 和道 氏	(12期)	2025年2月28日
平野 達也 氏	(41期)	2025年3月2日
小川 弘 氏	(7期)	2025年3月11日
藤田 秀昭 氏	(14期)	2025年3月15日
早坂 民雄 氏	(12期)	2025年3月25日
小島 四朗 氏	(11期)	2025年3月27日
大野 長彦 氏	(7期)	2025年4月1日
青木 一 氏	(12期)	2025年4月16日
佐野 晃 氏	(2期)	2025年4月21日
江澤 健二 氏	(4期)	2025年4月21日
江澤 増雄 氏	(1期)	2025年4月25日
篠永 裕之 氏	(24期)	2025年4月25日
松木 梵一 氏	(8期)	2025年5月12日
深谷 弘道 氏	(8期)	2025年5月16日
松下 敬二郎 氏	(8期)	2025年5月18日
富田 威 氏	(12期)	2025年5月19日
井上 喬 氏	(2期)	2025年5月23日
松本 達朗 氏	(23期)	2025年6月4日
本多 勝 氏	(11期)	2025年6月21日
中谷 隆 氏	(14期)	2025年7月17日
濱田 精介 氏	(6期)	2025年8月11日
奥澤 順一 氏	(9期)	2025年8月13日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

次号(第105号)

2026年4月発行予定。

投稿歓迎(同窓会HP、Alumni)

同期会や支部のイベント報告、個人の体験記などの投稿を歓迎します。標準サイズは文章1,200文字程度+画像1～2枚。同窓会事務局宛てメール（または封書）でお送りください。

記事によっては、同窓会HPのみ、Alumniのみの掲載となることがあること、また、掲載にあたって文言などが編集されることがあることを、ご承知おきください。

沖喜英雄先生追悼コンサート

1959年から98年まで音楽科の教鞭をとられ、大船移転に際し新校歌「緑なす相模野」を作曲された沖喜英雄先生（作詞は阿部忠也先生）を追悼する演奏会を開催します。

日時:2026年1月11日(日) 14時より

場所:鎌倉芸術館大ホール

曲目:モーツアルト「レクイエム」

沖喜英雄「お母さんとぼく」他

栄光メサイアソサイエティでは合唱メンバーを募集しています。

対象:栄光学園の生徒・生徒であった者及びその家族。

栄光学園の教職員・教職員であった者及びその家族

練習:月2～3回の日曜日13～16時、学園小講堂にて

指導:吉田秀文先生 群馬大教授／1993～2001年音楽科教諭

会費:年間36,000円(3か月ごと集金)・外部会場での演奏会は別途負担あり。但し、生徒・教職員は会費等不要

直近の演奏会:2025年11月23日(祝)

メサイア演奏会(学園聖堂)

問い合わせ:代表、森田 真(29期)まで(m3nm@yahoo.co.jp)

同期会開催・支部活動のサポートします！

「同期の連絡先を知りたい！」「イベントの告知を同窓生にしたい！」こんなとき、同窓会事務局がお手伝い致します。

卒業後10、25、50年目に該当する節目の同期会の開催には最大10万円の補助金をサポートの制度があります（※条件あり）。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

会費納入のお願い

同窓会の会費の納入にあたり、銀行振り込みを利用される場合には、下記でお願いします。

【振込先】

横浜銀行 大船支店 普通 0268077 エイコウカクエンドウソウカイ

【振込人名】

会員番号 氏名 (例:012345 エイコウタロウ)

会員番号は 本誌送付の宛名面をご確認ください。尚、同窓会事務局としましては、同窓会事務手続きなどの効率化のため、会費の納入には【口座振替】を推奨しております。「口座振替の手続を行っていただいた場合は、過去の未納分の請求は行いません」**キャンペーン実施中**です。この機に、是非ご検討ください。

編集後記

風呂に浸かりながら、人間の生態系での役割を考えた。「あらゆる動植物から、遅くとも数日内で高濃度肥料を生産する役割を担っている」に行きついて、腑に落ちた。食欲の秋！

広報部 M(37期)

全てのお問い合わせ先

栄光学園同窓会事務局

〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1

Tel/Fax: 0467-44-8875

e-mail: admin@eikoalumni.org